

DENKO

激江

2010年45号

入試・教務・進路支援・学生支援の各委員長が語る

今、大阪経済大学が面白い

特集

ズームアップ 経大人

谷 力氏	二宮克郎氏	高橋章二氏
竹下友基氏	田岡弘志氏	清水一二氏
太田 剛氏	山本普詳氏	畠中章人氏(順不同)



DENKO



01 創立80周年記念事業が
キックオフ 地鎮祭

03 入試・教務・進路支援・学生支援の
各委員長が語る
今、大阪経済大学が
おもしろい

09 知的財産をたずねて

10 大学心理臨床センターのご紹介

11 瑞宝双光章を受章/パソコン教室

12 同窓会会則改定

13 支部だより

25 北から南から

30 OB・OGネットワーク

40 ゼミ短信

43 先生からの“お元気”なお便り

44 本部だより

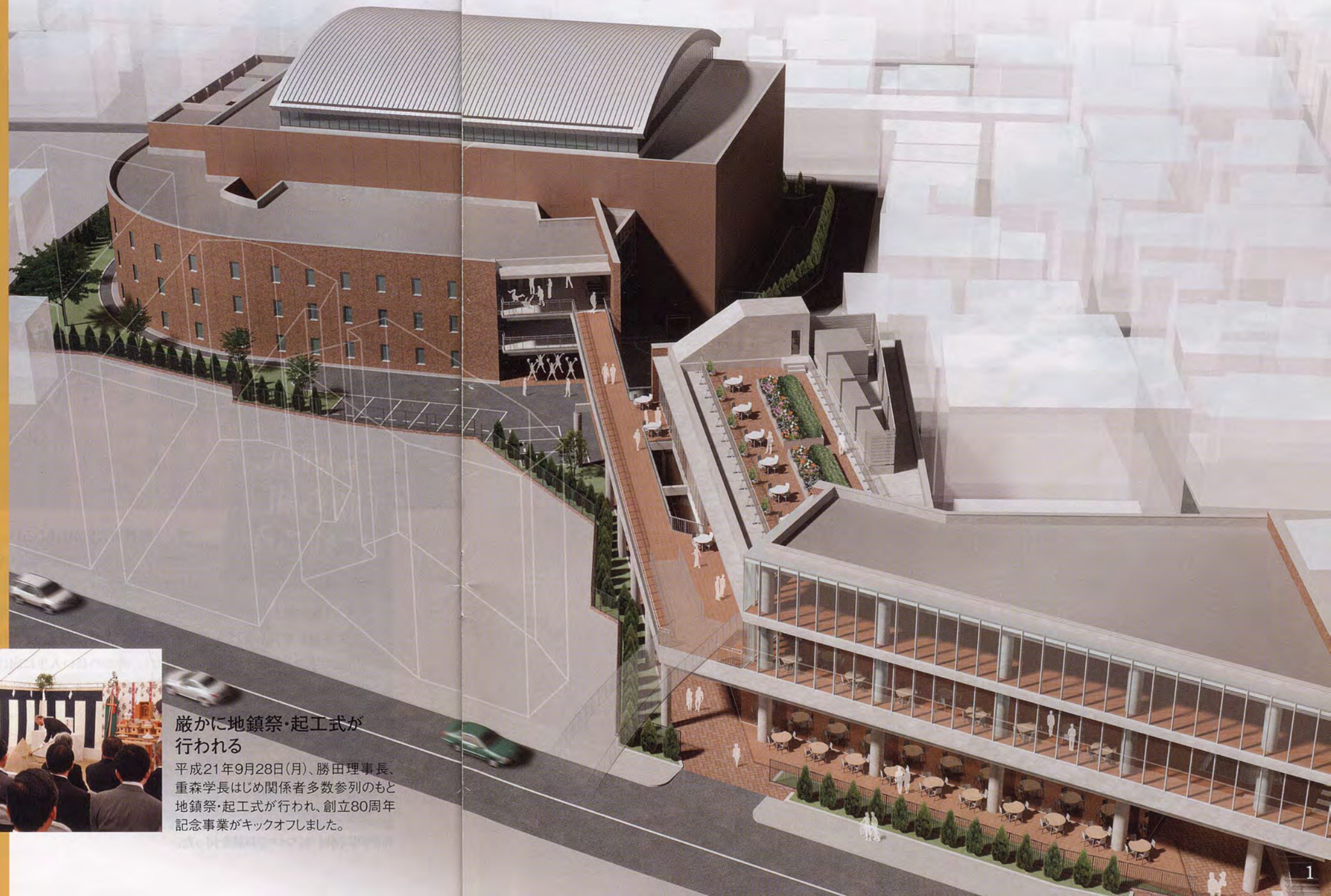
47 個人情報の取り扱いについて

48 総会報告

49 新刊紹介

51 **ズームアップ経大人**

谷 力氏/二宮克郎氏/高橋章二氏/
竹下友基氏/田岡弘志氏/清水一氏/
太田 剛氏/山本普詳氏/畠中章人氏



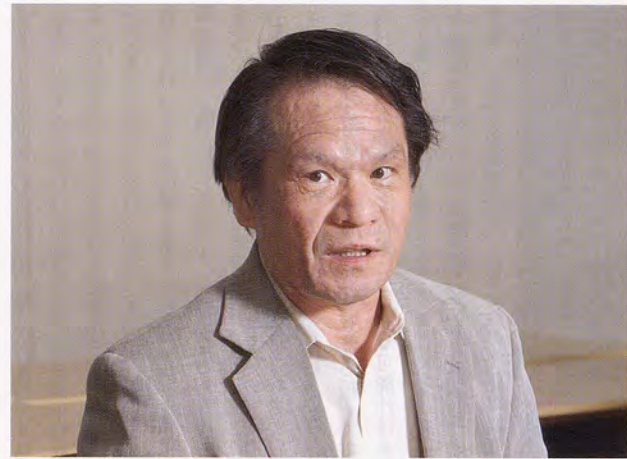
創立80周年記念事業の 第1ステージ

(仮称)新学生会館・新体育館新築工事



厳かに地鎮祭・起工式が
行われる

平成21年9月28日(月)、勝田理事長、
重森学長はじめ関係者多数参列のもと
地鎮祭・起工式が行われ、創立80周年
記念事業がキックオフしました。



中尾美喜夫先生

—はじめに中尾副学長に大学の状況についてお伺いします。

中尾 2012年に創立80周年を迎えますが昨年中に「創立80周年記念事業委員会」を立ち上げ、今年の9月には記念事業の開始宣言をする予定です。入試状況は昨年16,046人の受験者があり前年比109.9%と増えています。難関を突破した新入生の期待に応えたいと思います。一方、私の担当でもあります就職状況は相当厳しく「就職に強い経大」の評価を落とさないようキメ細かく対応しています。全入学時代を迎え、大学が生き残るために長期的戦略としてこれからの入学者に“どういう教育をするか、どんな学生生活を送らせるか”が問われています。人間力、

学士力、社会人基礎力をつけることが求められています。

大切なのは受験生の声に耳を傾けること—草薙委員長

—まず入口の入試状況はいかがですか

草薙 私は入試委員長として現在3期5年目になります。1期目は現状把握で精一杯でしたが、2期目は入試制度の問題発見に努め解決に取り組む、今期は本学の優位性を発揮できるような制度の構築を図りたいと考えています。バブル期には何もしなくても受験生は集まりました。その後バブルがはじけ一般入試の志願者が1万人を切った時期もありました。さてどうするか、入試制度の見直しと改善を図るため入試部職員と真剣に検討した結果「受験者の声を聞こう」という結論に至り、それからというもの高校生、高校の先生、保護者らの声に耳を傾けるよう努めました。判ったことは二連の入試作業を大学の都合で一方的に進めていたことでした。

そこで受験生の側に立った入試制度として、まず大学の情報提供すなわち「売り込み」を早くするため、入試制度の決定と入試ガイドの作成を繰り上げました。広報宣伝も大手新聞に掲載する大学特集の付き合いは減らし、東京、名古屋の入試会場は中止、中国・四国エリアにシフトしました。そして誰がみても判る合否判定の公平性と公正な入試制度の積み重ねが、その後の受験生の増加につながったと思います。入試に携わる教職員が「丸」となつてやるべきことをやったという感じですね。

—大学の「募集力」とは何ですか

草薙 大学からの一方的な売り込みではなく、高

校や受験生の声をしっかりと受け止めて誠実に向きあうことが大切だと思っています。売り込みのポイントとして毎年6〜7月に開く指定校推薦の説明会では①志願者は毎年安定しており評価はむしろ上がっている②解りやすい入試制度を心がけている③4年間貫してのキャリアサポートシステムで面倒見がよい④就職が強いなど申しあげ、さらに学生生活やクラブ活動の充実、通学の利便性、学費の安さ、新学舎の建設、奨学金制度の充実、多彩な課外講座の設置、活発な国際交流など元氣な大学の現状をアピールしています。

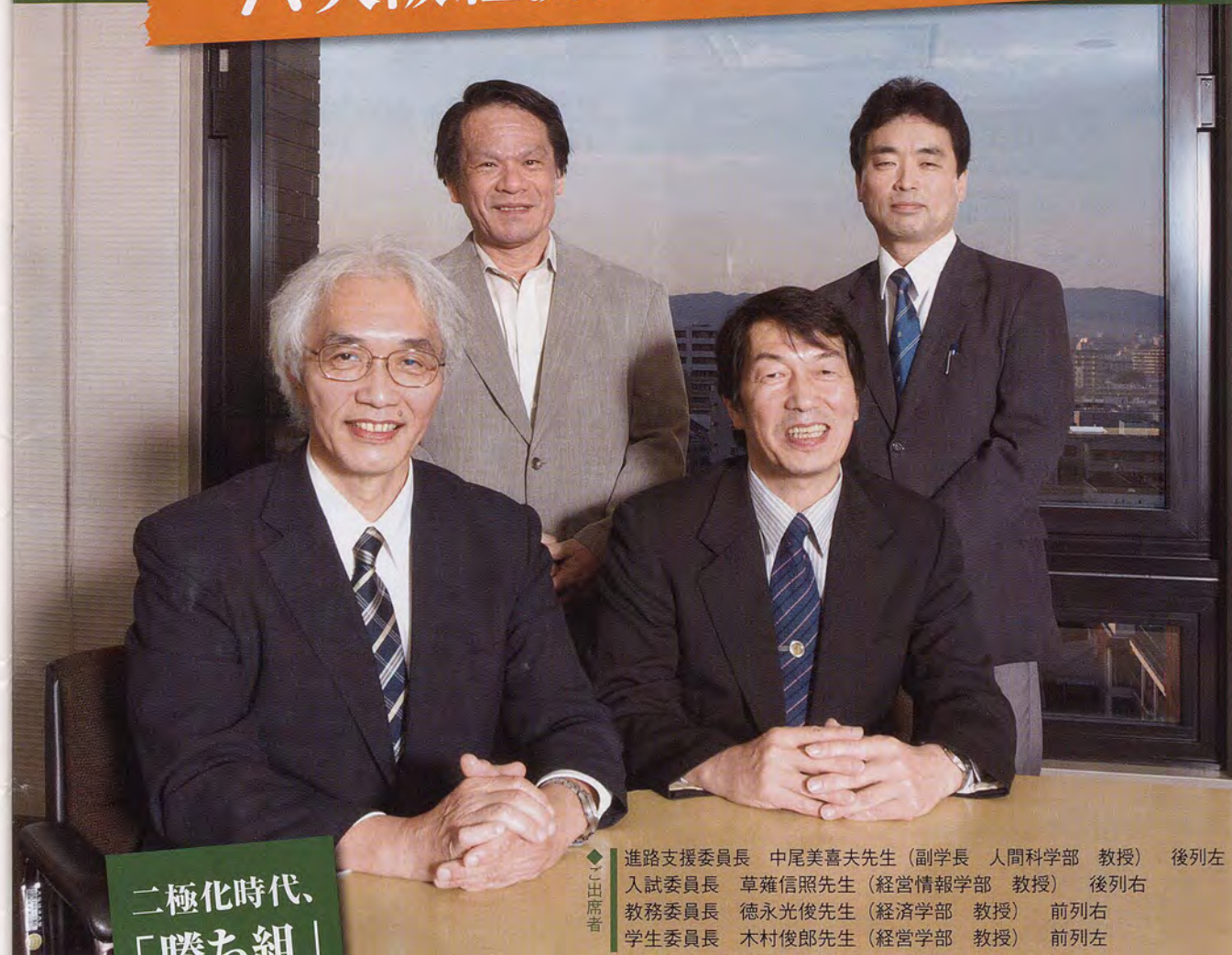
—出口の就職はいかがでしょう

中尾 就職に強い「経大」という定評があります。就職に強いということは伝統、歴史があるからです。8万人以上の卒業生を世に出しあらゆる



2009年オープンキャンパス説明会

今、大阪経済大学が面白い



二極化時代、「勝ち組」に残ろう

◆ご出席者
 進路支援委員長 中尾美喜夫先生 (副学長 人間科学部 教授) 後列左
 入試委員長 草薙信照先生 (経営情報学部 教授) 後列右
 教務委員長 徳永光俊先生 (経済学部 教授) 前列右
 学生委員長 木村俊郎先生 (経営学部 教授) 前列左

今、大阪経済大学が面白い。それは一言でいえば「大学力」が上がってきたのだ。「大学力」とは何か。実質的に大学全入時代に入るといわれる中、むしろ入試の「難しさ・易しさ」、志願者の「多さ・少なさ」という大学間での格差は広がっている。すなわち「勝ち組」「負け組」に分けられるという、大学の二極化時代を迎えたのだ。この時代を生き残るには「大学力」しかない。「大学力」を押し上げる要因はまず入口として志願者、入学者の量的確保と質的向上を目指す「募集力」、次いで4年間の中身となる「教育力と研究力」、将来の長い人生に向けての社会人基礎力・マナーを磨く「学生支援力」、最後が出口となる進路支援「就職力」といえる。大阪経済大学はこの募集力、教育力、学生支援、進路支援などが近年、関西を中心とする高校はもとより他大学からも熱い注目が集まっているのだ。

受験産業界が関西の私立大学をランク付けしたいいわゆる「関関同立」「産近甲龍」に次ぐ9番目の実力校として、学生数7500人の中規模の都市型大学ながら本学の社会的評価が上がってきている。80周年を視野に入れこの勢いはさらに加速されるのか、楽しみである。

ここで4部門(入試、教務、就職、学生)の現場を預かる各委員長にお集まり頂き「これからの大阪経済大学をどう導くか」についてお話を伺った。

(聞き手=常務理事・広報部長 平田 義行)

産業界、自治体におられる訳ですからそのパイプも太い。インターシップも昨年は2550以上の企業、自治体に515名の学生が参加しました。この数字は全国で8番目、関西でも関大について2番でトップクラスに位置します。とはいえ今年の就職状況は「厳しい」の一言です。他大学ともそうですが、本学は11月末で昨年同期比13.9%減ですから苦戦しています。今年の3月末でこれをなんとかして例年並みの90%台に近づけたいですね。一方、求人数は通年通り3,000件を超えており、学生が希望すれば就職につながる可能性はあります。

―就職は来年もさらに厳しくなりそうですが

中尾 すべての教職員が一人ひとりの学生と真剣に向き合い「人脈力(つながる力)」をいかしてキメ細かく指導する必要があります。重森学長からも「何か方策はありますか」と聞かれますが、教員として出来ることは、学生と一緒に就職できる先を探すことです。就職を希望しながら内定をもらえない学生は進路支援センターが徹底的にフォローしていきます。

「一人ひとりをフォローする」「ゼミの経大」―徳永委員長

―教務委員長はどう見られていますか

徳永 この瀬江を読まれる多くの卒業生の方の生像と今は、大きく変化しています。正直落差があります。卒業生の方はオレの時代はこうだったと考えがちですが、今の社会状況に対し教職員は日常から学生の声を聞き、日々対応しています。出来るだけ経大生の実像に迫り、現実の足元を見ながら、経大を変えるにはどういう教育や制度がふさわし

いか、を私たちは議論しています。

読売新聞が報じたデータでは、推せんを除いた一般入試での入学率は42.6%で関関同立、産近甲龍に次いで関西の私立大では現在9番目です。つまり受験生の学力は高くなってきています。

しかし、経大の弱点として他大学と明らかに違うのは、ストレート卒業率です。なんと73.3%なんです。関西の75大学でストレート卒業率が75%以下は21大学あり、本学もこの中に入っています。4年間で卒業して欲しいのですが、のんびりしているといえはそうなのですが(笑)。親にとっても辛いですよ。

ストレート卒業率が低いのは、4年生までのチヤク機能がなかったからです。4年生まで上がってきた、さあ卒業という時に単位が足りないとか、授業の出席率の悪さが露呈する。この原因として教員からの学生へのケアが足らなかったことがわかりました。そこで出席不振や単位不足の学生、5年生以上の留年生を呼び出し、面談をしています。大学に受け容れた以上、そのフォローは私たちが必ずせねばならない仕事です。

その上で教務委員会が出している具体的な方向は、「一人ひとりを大切にする教育として」「ゼミの経大」です。現在、基本的には2年生の秋から始まる専門演習のゼミ履修率は95%と高い。さらにこれを1年生から基礎演習として導入していくという事です。いくつかの学部では1年生からすでに取り入れており、学生と教員が早い時期からつながって、大変いい効果が上がっています。ゼミを早くから履修することで友達が早くできる、大学に入った目的も改めてわかってくる、勉強は難しきも伴うが解ればおもしろい。早い時期から一人



徳永光俊先生

ひとりの学生を理解する上で、ゼミ履修は大事だと考えており、教務として各学部への良さを判断してもらおうと努力しています。判断は各学部ができれば結構ですがデータはその有効性を示しています。教員の自己都合で学生教育をないがしろにして欲しくないですね。

専門性を養うということで、文科省は学士力を経産省は社会人基礎力を養成することを大学に求めています。本学は経済・経営系の大学ですからこの分野の専門性を身につけて、卒業してもらうことが大切です。それには「ゼミの経大」を世間にはつきりと打ち出し、将来、社会に役立つ力を身につけさせることが、経大が強調している「人間的実学」につながる」と思います。



木村俊郎先生

「マナーアップ運動を継続」―木村委員長

―社会人基礎力を養う上で「学生支援」の役割は高まっております

木村 学生委員長として昨春就任したばかりで、まだ若葉マークがついております(笑)。学生部の主な仕事は、学生の善悪含めての行為やトラブルへの対応、部活動への支援としてクラブ表彰や壮行会、快適な学生生活への支援など守備範囲は広いですね。毎日、学生部に向き、学生状況を聞いております。

―昨年は頭の痛い不祥事が続きました

木村 ラグビー部員の大麻に関して世間の批判をネット上からもたくさん浴びました。深く反省

しております。原因は本人の倫理観の喪失や未成熟からきています。再発防止を含め大学としてどう対応するか、学内外からも注目されているだけにメリハリのついた判断が必要です。今回の事件で全クラブ員にアンケートを取りました。意見として「大麻事件は大学として真剣に取り組んで欲しい」という要望が多かったです。

大麻吸引はタバコを吸うことから始まるといわれております。喫煙場所の厳格な指定やポイ捨ての厳禁、吸殻を見つけたらそれを拾うといった「マナーアップ」が必要です。昨年マナーアップ運動を実施しましたが、今年も継続しなければなりません。

よい話としては学生部主催の年に何回か実施している課外活動表彰があります。立派な成績を上げたクラブや社会貢献をした個人に対し、キャンパスの中で昼休みに公開表彰を行っております。昨年10月には7クラブと10人の体育会クラブ員、個人2名を表彰しました。特にハンドボール部、陸上競技部、準硬式野球部、剣道部は全国大会にも出場し、本学の名声を上げてくれました。

―各委員長からはそれぞれの持ち場の現状をお話していただきました。次に課題についてお聞きします。入学者の一般入試の比率は上げられますか

草薙 先ほども出ましたが、本学の昨年一般入試での入学率は42.6%で関関同立、産近甲龍の次です。しかし、関関同立や甲南大は推薦入試を取り入れていけませんので単純に比較することはできません。バブル期以前は特に何もしなくても志願者は集まりました。しかし、今は何もしなければ志願者は決まらなないので、推薦入試を単純に否定することはできません。問題点は判つていますので少しずつ改善をして一般入試のワクを広げ



2009年秋の課外活動表彰式

る方向で、すでに検討を始めています。

―全国の私立大学では全体の47%が定員割れといます。これは知名度のある大学へ集中するため、志願者の二極化が始まっています

徳永 先ほど述べました読売新聞の調査によれば、関西の75私立大学のうち定員割れは31大学で41%、就職率は75%以下が38大学で50%、退学率は1年生で10%以上が34大学で40%となっています。本学はこれらの数値よりいずれも上の部分にあります。しかし、大きな目安となります一般入試比率では、09年の近大の48.2%、龍谷大の49.8%を超える50%が中期的な目標でしょうか。

関西の上位8校は総合大学です。本学は経済・



交流会キャンプで仲を深める新生(大阪府青少年野外活動センター)

経営を学ぶ専門大学ですから、本学の顔とも言える「中規模大学としての面倒見の良さ」と「ゼミを中心とした教育体制」を発揮していくことです。最終の就職口では、これまで以上に上場企業を目指す。現状を維持し発展させる手法ははつきりしていますので、今後は日々の努力が求められます。「ゼミ・マナー・就職の経大」が目標ですね。

—ゼミの具体的なイメージは

徳永 経済学部では1年入学時から16〜17人をグループ分けし、テーマは与えませんが大学生活をつまみ食いしないよう、まず友達をつくる、プレゼンター

する体力がありませんので、集中するのは近畿と中国・四国です。近畿では大阪と兵庫に強いので、悔しがる大学もあるでしょう。(笑) 半面、京都からはなかなかきつくないことは課題です。地下鉄の開通で奈良方面からの学生も増えましたし、阪急や大阪市バスと合わせてアクセスが充実したのは大変有難いことです。

今の地位をさらに強めよう

—中尾委員長

80周年という大きな幕が上がりました。各委員長の仕事としてどう向かわれますか

草薙 今私たちが考えられるのは10年後ぐらいまでのことです。今の学生数75000人は全国100位以内の規模で決して小さくはない。そして関関同立、産近甲龍に追いつき追い越せの気概をもつ。「なんで近大より下なんや。関大と同じレベルと違うか」と言われることもありですが、今の9番目というポジションを確保しながら、特定の分野ではさらに上を狙いたい。募集力についてはここ4〜5年は維持できるでしょう。入試が時間を「かせいでいる。間に、中身・出口を整えることができれば、決して不可能ではないと考えています。」

木村 学生には経済的理由による退学の心配のない安心した学生生活を送れる支援をしたい、きいたと思います。一方、本学の学生は社会に出ればポキッと折れるような弱さがあります。ひよとしてたら全国的な傾向かも知れません。これを精神面でサポートするとともに学生相談の規模も現状だけでいいか検討したいですね。またスポーツ推薦で入ってくる学生が安心してスポーツに打ち込めるカリキュラム制度が必要ではないかと思えます。頑張っ

ション能力を身につけさせる、読んだ本の読後感が人前で話せるなど、いわば「読み・書き・そろばん」の初歩的でキメ細かい指導から始めます。ゼミ教員は高校でいう「担任」ですね。週1回のゼミを通じ学生と教員が早くからつながり、これが4年間継続されれば学生、教員にとって大きな財産となります。1年生から始めるゼミ教育こそが、これからの経大教育の柱です。

—人間科学部もゼミを早くからされています

中尾 入学直後の5月、全員で2泊3日のキャンプにいきます。このキャンプを通じ人間関係ができることで学内での自分の居場所もつくれます。これを春に行い、ゼミは秋学期から始まります。要は大学の楽しさを早くから自覚してもらいたいことです。

就職の立場からいってもゼミは非常に大切です。教授会や教員が就職活動にどう関わっていくかもゼミ活動がモノをいいます。ゼミは上級生と下級生のつながりでもOB・OGとも話ができる。就職観も養われます。教員が身近にいるため心強く集団で勉強することで、社会人予備軍としての基礎力がつきます。

徳永 4年間でストレート卒業でき就職も決まった学生のほとんどはゼミに入っており、逆に入っていない学生は卒業も就職も厳しいです。

木村 経済、経営、経営情報の3学部は4月に大阪府青少年野外活動センターに行きます。初めは皆んなイヤがついていますが終わってみると楽しい経験でしたといっています。学生部として、入学前後学生同士のコミュニケーションが図れる新生生キャンプをやれば多数の方々から協力をいただけるというには有難いですね。

徳永 本学が他大学と差別できる力として、初代学長の黒正殿の教えをいただき、それをもうと活用できないかと思えます。慶応や早稲田、同志社は創始者をどんどん使っています。「人間の実学」の柱として「道理は天地を貫く」の教えを学生は「僕は、道理をつけて考える」と自分なりに解釈し、これを4年間の学生生活で理解する。就職した会社の社長が「君は経大で何を勉強したか」と聞かれたい、目の前で「道理は天地を貫く」を10分間演説できる。そんな学生が育つてくれればと思います。

時代とともに創始者の精神をどう受け継ぐか、単に80周年といわず100周年を見据えながら、それを学生に教える。本学にはせつかくの財産ともいえる「黒正イズム」があります。8万人の同窓生の初期の方は薫陶を受けられ、今もって大学に愛着を持っておられます。今は創始者の精神をどう受け継いでいくかのコンセンサスが薄れているようです。今後は積極的にPRをし、「黒正イズム」が学生の「芯棒」となり、地味ながら着実に努力する人間の育成を目指すべきではないでしょうか。

経済学部では09年から新入生に「大阪経済大学の歴史と黒正殿の学問」というテーマで「UI科目」を行っており、「大淀の春は…」の学歌をCDで流し、授業の前後で皆さんで口ずさんでいます。

—中尾先生、「大学力」を上げる各委員長先生の取り組みを聞き、力強く感じました

中尾 本学は不況下でも就職に強く立地もよく、学費は伝統的に安い。経済大学に関わる多くの人々の連綿たる努力で、関西の私立大学のラン

クも上がり、今はさらにその地位を確固たるものにするチャンスです。学生の質的向上のため何をやるか、4年間の教育で一人ひとりが成長する苦しみを、辛抱を経験してもらおう。それにはゼミ教育はもとよりクラブ活動やいろんな体験が大事です。その結果、一回り大きくなった人間を社会に送り出すことが出来ると思えます。

—本日は「入口・中身・出口・学生支援」について各委員長の思いの丈の一端をお話いただきまし。ありがとうございます。

—入口の入試に際し同窓会の職域団体「大樟教育研究会」の先生方は目に見えますか

草薙 大きな力となっています。高校生の視点でアドバイスをいただいたり、本学へ受験生を送っていただきますし、ホームページもよく見ておられます。若い人はブランド志向が強いですが、本学は先生や親の世代に大変「受け」がよく、経大の認知度、ポジションはかなり高く評価されています。

—受験のエリアマーケットも変化していますが

草薙 最近の高校生の傾向としては地元大学志向が強まっています。関東地方はじめ名古屋以東からはなかなか向いてくれません。当方も全国展開



草薙信昭先生



多くの皆様にご利用いただいています

大阪経済大学心理臨床センターは、正式名称を大阪経済大学大学院人間科学研究科附属心理臨床センターと言います。2006年4月、大学院人間科学研究科の設置と同時に、心理学的援助を通じての地域貢献と臨床心理学専攻の大学院生の教育と研究のための実習施設として開設されました。

今年で開設4年目になりますが、大阪市内はもとより近畿一円から多くの方が相談に来られています。開設以来2009年9月末までの相談件数は234人、相談回数は延べ5240回になっています。相談内容は、家庭や家族のこと、学校や職場の人間関係、隣人や知人のこと、自分自身の心身や性格についてなど多岐に渡っており、年齢層も幼児から最高は80歳の方まで広くご利用いただいています。大人の方に対しては主としてカウンセリングを行い、子どもさんにはプレイセラピーなどを行っています。また、人間関係や集団になじみにくい幼児や小学生のための親子グループなども行っています。

大学院人間科学研究科臨床心理学専攻は、日本臨床心理士資格認定協会の第一種指定大学院に指定されており、大学院修了後に資格認定試験を受けて、臨床心



理士になることができます。専攻大学院生は教員やスーパーバイザーの指導のもとで、2年間当センターにおいて実習をしています。すでに第1期の修了生が臨床心理士の資格を得て、クリニックやホスピス、教育相談などの現場で活躍をしています。

心理臨床センターでは、質の高い臨床心理士の養成のための実習教育を行いつつ、今後さらに心理学的なサービスを通じて地域への貢献に努めていく所存です。同窓生の皆様のご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。相談は有料となっておりますが、もしも身近に心理学的な支援を必要とされる方などがおられましたときは、気軽にご紹介などいただければ幸いです」と挨拶、この「き



利用のご案内

大阪経済大学心理臨床センターは70周年記念館(フレアホール)1階にあります。相談はすべて予約制です。

来談予約 TEL: 06-4809-0557 予約受付時間: 月～金 午前10時～午後4時

相談時間: 日祝を除く毎日午前10時～午後7時ごろまで

料金: 初回5000円、2回目から3000円(親と子が別々に面接するときは2人で4000円)、心理検査3000円

※生活保護家庭には減額制度があります。予約時にご相談ください。

※医療保険等の対象ではありません。

本学の専門教員による指導のもとで、臨床心理学専攻の大学院生がご相談に応じることがあります。

知的財産をたずねて

地域住民に好評の 中高年者健康教室

『きさんじ塾』—人間科学部施設—



先に行われた平成21年度の「きさんじ塾」の開校式に出席した重森学長は「本学は地域社会に開かれた大学として、2007年に東淀川区と地域協定を結び、地域との交流を盛んに行っております。大学祭には模擬店を出して学生とのコミュニケーションを盛んにしていただき、大変感謝しております。また、この「きさんじ塾」は学生諸君のボランティアによって成り立っており、皆様からも温かく見守っていただければ幸いです」と挨拶、この「き

さんじ塾」を指導する中尾副学長も「健康づくりだけが目的ではありません。その先をどうするかを求められております。2006年秋からはじめて今年で6回目になりますが、卒業された方で「きさんじクラブ」を作られ、多くの方が卒業後も健康体操に精を出し、またコミュニケーションの場として活用しております。」と、歓迎の言葉を述べられた。

また東淀川区の熊本市民協働課長も「この健康体操が学校、学生のボランティアで成り立っており、区としても大変感謝しております。開校式に参加したある主婦も「お母さん今日から大学へ勉強に行くことになったよ」と子供に話したら、ウオーお母さん大学生になったんだとからかわれました」と笑顔で、早くもストレッチ効果を期待してやる気満々の様子でした。



また東淀川区の熊本市民協働課長も「この健康体操が学校、学生のボランティアで成り立っており、区としても大変感謝しております。開校式に参加したある主婦も「お母さん今日から大学へ勉強に行くことになったよ」と子供に話したら、ウオーお母さん大学生になったんだとからかわれました」と笑顔で、早くもストレッチ効果を期待してやる気満々の様子でした。

また東淀川区の熊本市民協働課長も「この健康体操が学校、学生のボランティアで成り立っており、区としても大変感謝しております。開校式に参加したある主婦も「お母さん今日から大学へ勉強に行くことになったよ」と子供に話したら、ウオーお母さん大学生になったんだとからかわれました」と笑顔で、早くもストレッチ効果を期待してやる気満々の様子でした。



卒業生が経営している創作イタリアン org(オルグ) おかげさまで50周年 さらなるご満足を提供します!!

オーガニック食材を使用したレストラン
オーガニックライフ オルグ
お肉や野菜・卵はもちろん、お水やコーヒーにもこだわり、安心してお食事いただけます。

同窓会
コンパ
歓迎会に!

大学関係の幹事様には特典があります。

50名様以上でお得な「貸切Party Plan 2010」

料金(税・サービス込) / お一人様

¥5,250 / 2時間 ~ ¥6,300 / 3時間(ご相談に応じます)

お料理: プッフェ / フリードリンク / デザート / ケーキ

※マイク、ビンゴゲーム、音響、照明設備等も完備。



JR大阪駅・阪急梅田駅より徒歩7分
Tel&Fax: 06-6312-0529
11:00~23:00(金・土・祝前11:00~23:30)
大阪市北区堂山町7-7(角庄ビル1F)

同窓会「大樟会」と改称

同窓会会則を改定しました

21年6月の理事会で同窓会会則が改定されました。改定の背景・趣旨についてはすでに「KEIDAI DAYS27号」(2009年8月発行)の大樟会便りでご報告したところです。本来ならば全文を掲載し皆様への周知を図らなければなりません、紙面の制約もありますので、ここに主な改定点を抽出しお知らせすることといたします。(改定・新設箇所を下線で表示)

- (名称) 第1条 大阪経済大学同窓会を大樟会と称する。
- (事業) 第2条 本会は、前条の目的を達成するために、つぎの事業を行う。
 - (1) 会員相互の研鑽と親睦をはかるに必要な事業
 - (2) 大学と会員及び会員相互の連絡を密にするための事業
 - (3) 大学の教育研究に対する支援事業
 - (4) 地域社会および産官学との連携を支援する事業
 - (5) 在学生の進路を支援する事業
 - (6) 在学生に対する学術及びスポーツ・文化振興に対する支援事業
 - (7) その他、本会の目的を達成するために必要な事業
- (会員の種別) 第5条 本会の会員は、次のとおりとする。
 - (1) 正会員は、学校法人大阪経済大学及びその前身である法人等の設置した学校を卒業した者
 - (2) 準会員は、大阪経済大学に在学する学生
 - (3) 特別会員は大阪経済大学の現・旧教職員及び本会に特別な関係があり常務理事会での議を経て会長が承認した者
- (会費) 第6条 会費は、理事会において定めた額を在学中に納めなければならない。
- (同窓会本部) 第8条 本会につきの役員を置き、同窓会本部を構成する。
 - (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 若干名
 - (3) 事務局長 1名
 - (4) 常務理事 15名以上20名以内
 - (5) 理事
 - (1号理事) 各回理事2名以上4名以内
 - (2号理事) 地域支部長
 - (3号理事) 職域支部長、各種団体・クラブOB会会長
 - (6) 監事 3名
- (役員の選出) 第9条 前条に定める役員は次に掲げる方法により選出する。
 - (1) 会長は、常務理事の互選により選出する。
 - (2) 副会長及び事務局長は、常務理事の内から会長が選任する。
 - (3) 常務理事及び監事の選考手続きは、別に定める常務理事・監事の選考に関する内規による。
 - (4) 理事は1号理事、2号理事、3号理事に区分するが、その資格権限は同一とする。
 - (5) 各回理事は、各年度の会員のなかから選出された者をいう。その選任及び補充手続きは、別に定める理事の選任並びに補充に関する内規による。
- (名誉会長・相談役) 第13条 本会に、名誉会長、相談役を置くことができる。
 - 2. 名誉会長は本会の会長職にあった者、相談役は本会の発展に寄与した者について常務理事会の承認を経て会長が委嘱する。
 - 3. 名誉会長、相談役は会長の諮問に応じ、また常務理事会の要請があるときは常務理事会に出席し、意見を述べることができる。
- (任期) 第14条 名誉会長、相談役の任期は3年とする。
- (評議員・理事の推薦) 第15条 学校法人大阪経済大学寄付行為第23条第2項第2号に定める評議員については、常務理事会の議を経て、会長が推薦する。
 - (2) 学校法人大阪経済大学理事の同窓会推薦についても前項に準ずる。
- (議決) 第17条 会議の議決は、出席者の過半数をもって決し可否同数のときは議長が決するところによる。ただし、当該議事について、あらかじめ委任状等の書面をもって意思表示した者は出席者と看做す。
- (定時総会) 第18条 定時総会は、毎年1回、11月の開催を原則とし、
- (常務理事会) 第19条 常務理事会は、概ね毎月1回の開催とし、
- (理事会) 第20条 理事会は、毎年1回、5月の開催を原則とし、
- (支部の設置) 第22条 会員は、地域、職域、その他の各種団体の支部を設置することができる。ただし、会員数は別に定める「地域・職域等の支部設立資格に関する内規」による。原則として50人以上で構成されるものとするが、特別な配慮により支部として認定する必要がある場合は常務理事会の議を経る。
- (支部長の任務) 第23条 支部長は、支部を代表し、全国支部長会議に出席し支部の活動状況、支部会員の年間移動状況を書面にて本部に報告する。
- (全国支部長会議) 第24条 全国支部長会議は、年1回開催し、本部並びに支部間の連絡を密にすると共に支部の運営について協議する。
- (感謝状・褒賞賞) 第25条 同窓会並びに学校法人に対して貢献があったと認められる者に対する表彰授与は、別に定める表彰に関する内規による。
- (内規) 第37条 本会の運営を公円滑ならしめるため、その詳細については常務理事会で内規を定めることができる。
 - (2) 内規を定めた場合は、理事会において報告すると共に、理事会で開示・改廃の決議あるときは、それに従うものとする。

以上

瑞宝双光章を 受章

梶村文彌(8回卒)さん



平成20年11月1日、高齢者叙勲・瑞宝双光章を授与されることになり、同年12月26日、兵庫県教委を通じ、最終勤務校の校長と事務長が自宅に来訪のうえ、勲記と勲章の伝達を受けました。思いがけない受章で、大変感激しています。

敗戦後の混乱期を経て郷里に帰り、昭和25年から兵庫県立篠山農業高等学校(現・県立篠山産業高等学校)に奉職以来、一貫して職業高校に勤務し、産業教育の振興と発展に尽力してまいりました。その間、兵庫県立篠山産業高等学校丹南分校長、兵庫県立長田商業高等学校教頭、昭和52年～56年には兵庫県立日高高等学校長を務めました。

また、県高校教育研究会英語部会常任委員、県高校進路指導研究会常任幹事、県高校定通制教頭会長、全国高校定通制教頭会常任理事、県高校教育研究会並びに県立高校長協会家庭部会副会長、全国高校長協会家庭部会理事、県高校教育研究会並びに県立高校長協会看護部会長、全国高校長協会看護部会常務理事兼近畿支部長、県高校社会科学研究会但馬支部長、県歴史学会但馬支部長、県産業教育常任理事などを歴任しました。

県立日高高等学校長の時、老朽化した木造校舎を全面的に鉄筋コンクリート造りに建て替え、立派な庭園を造ったり、グラウンドの拡張整備に携わったことも思い、出深いことです。

定年後は、兵庫県・旧篠山町・篠山市の各機関の委嘱を受けて、任務に励んだり、各所で講演をしたり、10冊余りの本も出版しましたが、現在は、歴史一般に郷土史などの研究を日課にしています。母校と同窓会のみならずの伸展を祈念しています。(前丹有支部長、元全国支部長、幹事長、元大阪経済大学評議員)

400名が受講 2009年 パソコン教室



開講のあいさつで実行委員長の峰浦修平(経済学部4回生)さんは「今年のテーマは『つながる』とし、教える側も学ぶ方も次の人へこの教室を伝えていただきたい。毎回人気のあるデジカメはがきコースは今年も応募が多く、約50人に定員を増やして受講してもらいました」。後援の同窓会からは田村正晴副会長が「暑い中、パソコンを学ぼうとされる意欲に敬意を表します。講師はすべて大学生で初めて教える人もいますが、人を教えることで自分も教えられると思います。昔から、若くして学べば壮にして成すなり、壮にして学べば衰えず、老いて学べば死して朽ちず」という言葉があります。ぜひ受講される気持ちを忘れずに今日一日を頑張ってください」とエールを送った。

パソコンが私たちの日常生活で必要条件となってきた現在、老若男女を問わず、パソコン活用の習得ニーズは増え続けております。大学としても地域への貢献に役担う立場から「大阪経済大学パソコン教室」(主催/大経大パソコン教室学生実行委員会、後援/大阪経済大学同窓会・後援会)を2001年(平成13年)から開催しており、第9回目となる今回も「パソコン教室」を昨年の9月5日(土)～6日(日)の2日間開催しました。

受講生は抽選で選ばれた約400人の方が一日7時間、2日に分けて受講されました。コースは初心者コース、Wordコース、Excelコース、デジカメ・はがきコースの4コースで、ソフトはMicrosoft Office 2007を使用、コースの選定、テキストの制作や講師などすべて学生による大経大パソコン教室学生実行委員会の皆さんが当たりました。



パソコン教室開講式

受講された方も親子づれ、ご夫婦、友達同士などさまざままで、各コースに分かれ、若い講師の熱心な指導に懸命にパソコンに取り組んでおられ、充実した楽しい一日を過ごされた。



歳のせい

北海道支部



10月30日(金)は28回目の北海道同窓会支部総会でした。当日は前日まで暖かさが嘘の様な寒い!如何にも北海道らしい?日でした。

参加者は仕事や体調不良のため10名と少なく、ちよと寂しい総会に成りましたが、参加者全員(北海道生まれが1人もいない)が、私のこの1年のタイトルで互いに日常の一端を話す内に、私自身いつも感じる事は、笑い!やホロリ!の話に自然と30数年前昔の自分に戻っている事に驚きます。そして何かしら明日への力を貰って帰る自分です。

1年に1度しか会えない人もいますが、この機会には私には本当に貴重な時間です。年々この思いが強くなるのは、歳のせい??

上田正人(35回)

同窓会で広がるネットワーク

東京支部



平成21年9月東京支部同窓会が開催されました。私が同窓会に参加させていたたくのは今回で2回目。参加するきっかけとなったのは、大阪経済大学からすぐ近くの居酒屋さんで、歴代のOB・OGの方々が同窓会に大勢いらつしやるから、あなたも自分自身の勉強にもなるし、ネットワークにもなるから行ってみなさい!と店主に勧められてです。まだ参加回数は少ないですが、今では店主の言葉通りだと実感しています。同年代で集まる同窓会とは異なり、どちらかというと私自身の卒業年から計算しても20~40年程も大先輩の方々が大半で、会話の中でも教わる事が非常に多く、今の自分の世界観・ネットワークを広げることができる場だと思います。年1回の同窓

会。ぜひ皆様にもご参加されることをお勧めしたいですし、来年も参加させていたたくことを楽しみにしています。 舛永弥生(72回) (写真はホームページの関係で参加者の一部の方です)

古都の老舗で盛大に開催

富山支部



富山支部総会は、7月4日(土)富山県高岡市割烹「千鳥」にて開催いたしました。本年度は会員の皆さまから要望が強くありました富山県西部での開催を企画しました。高岡市は今年開町400年の歴史を持つ町で、市内には古い町並みや歴史ある建物が多いところです。その繁華街に店を構える「千鳥」は本校OBの中村勝治さん(38回卒)が経営されている老舗割烹で、当日は19名の皆様に参加されました。

若手会員の参加に手応えを感じる福井支部総会

福井支部

6月28日の日曜日、大学から佐々木繁事務局長、同窓会から神田博組織部長のお二人をご来賓に迎え、ホテルフジタ福井で福井県支部総会を開催しました。

また、総会と懇親会の合間に地元出身の歌手南部直登さんのコンサートで盛り上がりました。

若年層会員の総会参加が非常に少ないことから、昨年度から若年会員の掘り起こしをめざして総会参加費を低目に抑え、同時に、講演会やコンサートなどの催しを企画して総会を開催してきました。また、支部役員が手分けして県内の同窓会全員に対し、電話による総会参加要請活動を展開してきました。

不況を反映してか、今年度の総会参加者は昨年度の人数を下回ったものの、

全国の支部からの活動報告と支部総会のお知らせ



南部直登さんのコンサートで盛り上がる

若干の若手会員の参加があり、手応えを感じているところです。同窓会活動に限らず、若い世代の活動参加促進に妙案、奇策はなく、地味ではありますが、こうした活動を来年度も続けていくことにしています。

なお、畑守副支部長から、福井県支部内に嶺南を中心とした会を立ち上げ

げるべく準備活動に入る旨の報告がありました。

事務局長 田安敏男(38回)

支部長が交代 愛知支部総会

愛知支部

平成21年、愛知支部総会を10月4日(日)、名古屋駅前ホテルアソシア名古屋ターミナルにて、開催致しました。当日、本学副学長、中尾美喜夫教授はじめ同窓会より、常務理事、梶村貞男(37回卒)様、京都より京都支部長田中伸治(45回卒)様のご来賓をお迎えして始まりました。

総会は、鴨下順二幹事(38回卒)の司会により、明田安生支部長(25回卒)の開会挨拶で始まり、ご来賓挨拶として、中尾副学長より大学の現状について詳しくお話を頂き、同窓会の梶村常務理事より同窓会の現況、問題点についてお話しして頂いた。

次いで、議事に移り、梅垣高夫会計幹事(39回卒)より会計報告があり役員改選において、明田支部長より支部長の交代提案があり新支部長に、五十棲保彦副支部長(32回卒)が全員の承認を受けて、新支部長に決定致しました。続いて、懇親会に移り、10回卒業の翠忠明前幹事の、乾杯発声によって始まりました。

今回の総会は、愛知支部として、62周年を迎え新支部長は6代目にあたり、明田支部長より報告がありました。又11月1日には全日本大学駅伝(名古屋の熱田神宮より伊勢神宮まで)に、本学陸上部が12年ぶりに出場致します。応援宜しくとのお願いもあ



宴も盛り上がる中、赤塚恒夫幹事(31回卒)が閉会のあいさつを述べながら惜しい中、総会は終わりました。

新支部長 五十棲保彦(32回)

新しい参加者を増やそう 昭和高商卒の日野さんご出席

滋賀支部

平成21年度滋賀支部総会を6月20日(土)、近江八幡市のホテルニューオオミで開催しました。現在の支部会員数は約1430名余りと大所帯ですが支部総会は隔年ごとに開いており、全員に開催の案内状をお送りしておりますが、残念ながら参加者が少ないのが悩みです。今年と同窓会本部・大学をはじめ愛知、福井、京都など近隣支部からも来



副支部長 橋本庫一(30回)

賓としてお越しいただき、総数28名の参加で盛大に行うことができました。懇親会ではアトラクションとして「筑前琵琶」の弾き語りをお願いし、皆さん感銘を受けられました。また昭和高商時代の第10回卒(昭和18年卒)の日野清三さまが出席されご挨拶をいただきましたが、大変感動的でした。

総会と懇親会は、皆さん懐かしい昔に振り返り若い学生時代に、和やかな一日を過ごすことができました。次回総会も一人でも多くの方のご参加がいただける支部総会にしていきたいと思っております。よろしくお願ひ申しあげます。



平成21年度支部総会報告

京都支部

11月27日(金)東華菜館にて、平成21年京都支部総会を開催いたしました。当日は来賓として、理事長の勝田泰久様、経営学部長の北村實様、同窓会長の佐藤武司様、常務理事の福地利仁様、愛知支部長の五十棲康彦様、北摂支部長の大門寿郎様、滋賀副支部長の橋本庫一様をお迎え致しました。同窓生の出席数は、南和男前支部長時代の上げ潮ムードを受け継ぎ、14回卒から75回卒まで42名の多数となりました。中でも、平成の卒業生が6名も参加頂き、感激いたしました。美味しい中華料理と紹興酒に酔いしれ、時の経つのも忘れ、母校の思い出に浸りました。最後に一同で逍遙歌を斉



唱し、来年の再会を期して散会となりました。尚、今回より執行部が交代しましたので報告致します。相談役に南和男、井出雄太郎、中野幸治の各氏、幹事に川勝敏之、山田直樹、中野恵介、山崎博也の各氏です。
新支部長 田中伸治(45回)

それぞれが役割を分担し活動を

堺支部

11月14日(土)大阪なんばのホテル一栄で第7回堺支部総会が開かれました。総会に先立ち全員で学歌を斉唱しましたが、卒業後初めて歌った人も多かった様に思います。続いて堀本支部長が「出席者が増えることを期待して交通も便利ななんばに会場を変えましたが、目的は果たせず残念だった。今回はじめて総会に国旗を掲揚出来たことは他支部に先駆けとなり誇りに思います。これからもそれぞれが役割を分担して活動していきたい」と挨拶されました。次いで来賓として大学側から経営情報学部高松亨教授が大学の状況を、同窓会本部から中村敏啓事務局長が同窓会の現状を話されました。議事に沿って本年度事業報告、活動報告(旅行会、ゴルフ会、懇話会)、会計報告、監査報告が行われました。また今回は役員改選時期に当たり、来年度の事業計画、予算とあわせて拍手で承認されました。
懇親会では58回卒の浦尾雅文氏(河内長野市会議員)に乾杯のご発声を頂き始めました。和気あいあいの中旧交を温めたり、情報の交換などが会場いっぱいに広がりました。宴もたけな



わになりカラオケが入りのど自慢が次々と登場、時間を忘れて楽しみました。午後9時過ぎに次回も元気で出席出来る事を約し閉会しました。
副支部長(懇話会担当) 見学捷太郎(28回)

平成21年度支部総会開催

北摂支部

平成21年2月14日(土)に高槻市民会館で総会を大学より重森学長先生と本部より佐藤会長、神田組織部長の来賓を賜り同窓生46名の出席で開催しました。
学長の祝辞では、大学の将来構想及び入試と就職の状況を拝聴、佐藤会



長よりは「同窓生は何が出来たのか」を軸に施策を構築する必要があると提案がありました。
議事では古川議長を選出して、
第一号議案 平成20年度活動報告
第二号議案 平成20年度会計報告・監査報告
第三号議案 会則一部改正の提案
第四号議案 平成21年度活動案提案
議事は悉く可決され、続く懇親

全国の支部からの活動報告と支部総会のお知らせ

会では和やかな交歓と同窓生の消息や、名刺の交換、学歌の放吟で同窓生一同大いに盛り上がりました。
支部長 大門寿郎(29回)

平成21年度(第2回)北河内支部総会を開催

北河内支部

6月6日(土)門真市の仙亭古川橋店で、同窓会本部から佐藤武司会長、平田義行常務理事・広報部長、大学から門田俊夫人間科学部教授をお迎えし、第2回支部総会を開催、有山和雄支部長から昨年8月誕生したばかりの支部であり、また十分な支部活動を展開するまでには至っておりませんが、先輩支部に教をいただき、大学に一番近い支部としての存在感を発揮したいと挨拶の後、佐藤会長から「大学の提唱するつながる力に同窓会としての役割を大いに発揮していきたい」と、門田教授からも「来るべき80周年に向けて大学は前向きに取り組んでおります」との同窓会、大学の近況を交えた挨拶を受けた。
続いて行われた総会では、20年度事業・会計報告、並びに21年度事業・予算案を全員一致で承認、総会後行われた懇親会で公務多忙の中、出席された田中夏木四條駿市長(26回卒)から「北河内7市在住の卒業生が一堂に会する北河内支部が誕生したことは誠に喜ばしいことであり、今後益々の発展を期待しております」との励ましの言葉をいただき、赤木尚子さん(13回卒)の乾杯の首頭で、なごやかな懇親の場が広まった。12回卒のお年寄

りから74回卒の若者まで、それに4人の女性軍が加わり、昨年の設立総会の時とは違った趣の支部総会を開催することができました。
副支部長 森川義一(25回)



22年度行事予定

豊中支部

- 豊中支部の行事予定を報告致します。
一、第25回記念総会・懇親会
平成21年10月3日(土)
二、秋のゴルフコンペ
平成21年10月16日(金)
三、秋のハイキング
平成21年11月15日(日)
四、麻雀大会
平成22年3月27日(土)
五、春のハイキング
平成22年4月4日(日)

堺、和歌山支部からも出席 和気あいあいの泉南支部総会

泉南支部

- 六、春のゴルフコンペ
平成22年5月19日(水)
七、カラオケ大会
平成22年6月13日(日)
八、ボーリング大会
平成22年7月11日(日)
九、読書会・日帰り小旅行
平成22年9月12日(日)
参加希望者は事務局 上田敬二郎(52回)
(06)6831-3984 まで連絡
お願い致します。
支部長 青木昭生(34回)

21年度泉南支部総会が6月21日(日)12時より関西エヤポートワシントンホテルで支部員16人、来賓6人の計22人で開かれた。大学からは副学長の中尾美喜夫先生、同窓会からは齋員文総務部長、平田義行広報部長、堺、和歌山の近隣支部からも代表者が顔を見せた。車野支部長から「出席者は増えないが、いつものお元気な皆さんの顔を拝見し嬉しく思います。今日はゆっくり語りあってください」と歓迎のあいさつがあり、同窓会本部(質問として)「(一)同窓会名の変更について(二)同窓会会費の収入減について(三)理事会の紳士的な運営などの提言があった。同窓会名の変更は同窓会大樟会と称するが、支部名に大樟会は付記しない。会費減は過度的な措置で4年経過すれば従前に戻る。理事会運営は同窓会として同じ方向を目指すこ

とが重要、と答え理解をいただいた。来賓として出席された前衆議院議員の松浪健四郎氏が「これからの大学」と題し講演された。中味がわかり易く現実問題だけに、皆さん真剣に聞かれていた。
懇親会は小松顧問が乾杯発声を、中締めとして曾我部副支部長が11月3日の同窓会総会で再会しましょうとあいさつされ、和気あいあいの中で総会は終了した。
本部広報部長 平田義行

平成21年度尼崎支部総会

尼崎支部



尼崎支部は平成21年度支部総会を4月22日(水)にホテルニューアルカイックにおいて開催しました。



全国の支部からの活動報告と支部総会のお知らせ



来賓として徳永光俊教授、田村正晴同窓会副会長、菊川和義常務理事、山本晴義元学長の「出席と会員39名の参加がありました。」



新支部長に林和信氏(32回卒) 姫路支部

あいさつをする林和信新支部長

平成20年度姫路支部総会は、2月27日(金)姫路キャッスルホテルで42名の参加者で開催いたしました。

明年発足20周年記念総会にはぜひお越しを! 淡路島支部



倉教授が記念講演されました。30年を超える日本銀行勤務経験を踏まえて、鋭い視点にたつたわが国と関西経済の動向や今後の見通しなどを聴くことができました。



平成19回大阪経済大学同窓会淡路島支部 総会 様



大阪経済大学同窓会 尼崎支部

懇親会は芝網羅様(昭和24年卒)の乾杯で始まり、途中ビンゴゲームをして楽しい時間を過ごしました。



地域の活性化にも貢献 全国48番目の「伊丹支部」が誕生

お待ちしています。 支部長 小谷芳男(24回)

同窓会48番目、兵庫県下では11番目となる「伊丹支部」が誕生しました。

になった同窓会に何かお返しできればと思ひ引き受けました。早く基礎を作り若い方に運営を譲りたい。

平成21年度 神戸支部総会 神戸支部

神戸支部

平成21年度神戸支部総会は、10月25日(日)12時より、神戸・元町駅北側の「パレス神戸」にて開催いたしました。

懐かしいキャンパスと 学園祭を満喫! 北播磨支部

兵庫県北播磨支部創設3年目とな



平成21年度 大阪経済大学同窓会 神戸支部総会



〈経大タワー〉建設構想を披露

奈良支部

11月8日、支部員32人に北村實経... 奈良支部



3時間、和気あいあいと 貴重な時を

岡山支部

7月4日(土)岡山プラザホテルにお... 岡山支部



津山支部総会の開催報告

津山支部

8月22日、事務局次長の高橋様... 津山支部



盛大な総会にしよう! 支部長 竹本巧(37回)

「フプレひまわり」の 梶原社長がスピーチ

備後支部

平成21年11月29日(日)第八回備後... 備後支部

全国の支部からの活動報告と支部総会のお知らせ

支部総会報告

広島支部

10月24日(土)、今回は広島を抜け出... 広島支部



ドラッグストアとして、現在年商... 広島支部

山口支部総会

山口支部

今回の総会には、初参加の高松亨経... 山口支部



回卒の川下正男大先輩にお会いする事... 山口支部

ただきました。予定していた人数を大... 山口支部

平成20年度徳島県支部総会 新会員の開拓がカギ

徳島支部

年が明け皆さんいろんな互例会で忙... 徳島支部



くことが大切で、その節は同窓会とし... 徳島支部

ました。そして支部の事業報告から新しい年を迎え、一番の問題となっている新会員の開拓の問題については、神田組織部長から組織作りの提案やご指導をいただきました。各人の近況報告では皆さんやはり今の状況不安への話に花が咲きました。そして昔に比べて学歌・追遠歌を歌い、最後に全員で記念撮影をして、来年の再会を約し「来年は各自もう一人誰かを誘って来よう」と話しながらの散会となりました。

山口勝敏(32回)



高木新仁さん(36回卒)が丸亀市議会議長に就任 香川支部総会

香川支部

7月4日(土)午後5時半から今年

度の支部総会と懇親会をルポール讃岐で開催しました。この日は大学教育懇談会が高松で開催され、四国4県から60数名が参加され、盛況であったようです。

支部総会には大学から北村實教授・経営学部長他4名、同窓会本部から佐藤武司会長がこれら、支部会員17名と合わせ出席者は総数23名です。議案事項が事務局から提案説明があり、全員異議なく了承されました。今回、特記事項として36回卒業の高木新仁さんが丸亀市議会議長に就任されました。総会では高木さんにお祝いの記念品を贈呈しました。市議会議長という名誉ある公職に就かれたのは、高松市議会議長をされた大先輩の故水野高司さん以来の快挙です。本当におめでとうございます。その他として、来春の県内の主要企業50社の就職採用は厳しい状況という報



告と同窓会からは佐藤会長の同窓会報告がありました。

支部長 岡野敦(31回)

新たな発見

愛媛支部

平成21年度7月5日愛媛県支部総会が、20年ぶりに私の生まれ育った町の西条市で開催されました。今回初めての参加という事もあり緊張と同時に、どんな先輩方がいるのかと楽しみながら思っていた以上に多くの諸先輩方が様々な方面で活躍され、同時に後輩の事を様々な面でお考えられているのだと知り、感銘を受け、多くの刺激を受けました。



まだ参加されていない方は、来年度ぜひ参加して下さい。素敵な先輩方から多くの事を得られると思います。私は新しい将来の目標を見つけている事が出来ました。来年皆さまにお会いできる事を楽しみにしております。

鈴木智仁(75回)

平成21年度高知支部総会開催

高知支部

10月3日(土)午後6時から高知新阪急ホテルにて開催しました。大学から高橋事務局次長、同窓会本部から小林常務理事が出席され、大学の近況について報告を受け、出席会員11名と熱く語り合いました。また、本総会において長年御苦労をいただきました山脇宣明幹事が退任し、代わりに南宏道が新幹事に就任いたしました。その後、高知らしい日本酒の返杯が始まり、和気あいあいな日本奉法



部OBの井上さんの学歌、追遠歌、フレイフレー経大により中締めとなり、来年の出席人数の増加を目標に閉会しました。

幹事 南宏道(52回)

近隣支部とも連携を深める 北九州支部総会 20名が出席

北九州支部

皆さんこんにちは。5月23日北九州支部総会を開催しました。来賓として大学から小川経済学部長、同窓会から佐藤会長、小林常務理事らがご出席いただきました。大学の状況や同窓会の活動の現状など具体的なお話があり、出席者全員熱心に拝聴いたしました。



支部創設20年目

熊本支部

21年度支部総会は6月6日(土)夏目漱石の「草枕」に由来する天水町の『那古井館』にて15名の出席を得、行われた。梅原教授、小林常務理事が来賓としてご臨席頂き、教学、同窓会の現状等ご説明頂きました。

当支部も20年目の節目として、いましばしの人数の参加を見込んでおりましたが諸般の事情にて例年通りの出席となりました。各支部の悩みと同じく当支部でも新卒者や若い卒回者の出席を念じております。昨今の経済状況下で熊本よりの受験者、入学者は微々たるものであり、卒業後も帰郷する者は少ない様です。大学においてはせめて中小企業の後継者を主として育成出来る学

部・学科を、教学、理事側に要望するものです。少子化の中で特色ある大学を目指すために、「二考賜わらん事を。」

支部長 濱忍(35回)



灰(桜島)降る町の集い

南九州支部

初めての参加者もあり楽しい時間をすごせた。灰降る町の支部総会に佐藤会長、大学の高塚事務局長を迎え、福岡から令夫人を供い参加してくれた大倉野君、奄美からの平君、市役所大通りのイルミネーションの輝きを窓辺に見て、大学の現状や参加者の近況に時間が経つのも忘れ語り合いました。体調の思わしくないと連絡のあった伊伏前支部長、鶴田相談役の健康を気遣い終始大学の話題で一杯でした。今年96才の野村節夫先輩が旭日単光章を受章されたそうです。おめでたいことでした。昨年の森征一郎さん

に加えての祝事で、蒼高い南九州支部の面々であります。どうぞ皆様お元気でご活躍下さいませよう後輩一同折っております。また平成22年も12月第一土曜日に。

支部長 前園博隆(34回)



推薦入試枠の増員を要請 「体育会OB会(大樟体育会)」と改称

大樟体育会

体育会連絡協議会の第9回総会が5月30日(土)、本学で開かれた。今年1月24日に決まった新体制による初の総会で、出席者は21クラブ31名、委任状4クラブ、本部役員9名、同窓会本部役員3名、現役体育会役員4名の計47名。

全国の支部からの活動報告と支部総会のお知らせ



久保太郎会長

育だと思えます」と力説された。分科会終了後、大学との意見交換、懇親会を通じ、参加者一同今回のテーマであった「つながる力」の大切さをそれぞれに確認し、会場を後にした。

今こそ中小企業の手助けの役目

社労士大権会

社労士大権会の定期総会が7月12日(日)、本学で開かれた。出席者は14名で委任状は7名。久保太郎会長は「社労士大権会が発足、丸1年たちました。社会・経済情勢が複雑化する中、社労士の仕事は忙しく活発にされているところと、マイペースでされているところと2極化されています。東京に行きますと皆さん多忙で、仕事はどんどん伸びています。私は尼崎で仕事をしておりますが、顧問先も毎月増えており情報とアイデアを工夫すればこれからも伸びるチャンスはあるでしょう。この不況下、中小企業の手助けをするのが私たちが社労士の役目だと思えます」と述べ、

久々に5月26日、大阪で春秋会を開催いたしました。ご出席いただいた方は井阪さん(平和不動産)、中島さん(至リタHD)、大阪市信用金庫理事長代理の福岡さんほか(株)タカショー、A.I.T、大阪証券取引所等の各代表取締役、創業50周年を迎えられた大和リース森田さんが最も若い社長としてご参加。自治体からは大阪府四条畷市の田中夏木市長も目

久々の春秋会 大いに盛り上がる

春秋会

記念講演会には「職業性ストレスとコミニケーション」と題し本学経営学部・経営学研究科准教授の田中健吾先生が労働者のメンタルヘルスについて詳解された。

本部広報部長 平田義行



特別表彰される皆さん

案され、承認された。恒例の特別表彰が行われアイススケート部、卓球部、弓道部、洋弓部の4クラブと山本和作(硬式野球部)、上村大輔(アイススケート部)、森山亜紀代(空手道部)の4氏が個人表彰された。その他の案件として会名の変更が提案され、協議された結果「大阪経済大学体育会OB会(大樟体育会)」と改名することが全員一致で決まった。

各クラブからの主な意見として(1)会費徴収金の透明性(2)特別表彰の表彰規定の見直し(3)各クラブ部長(大学教員)との懇談会の開催の希望(4)勉学とスポーツ両立の立場からイブニング授業の再開(5)茨木グラウンドの有効利用を図るなどが提案された。役員会はこれらの要望に鋭意検討すると回答した。最後に各クラブから今春の戦績はじめ現状報告、要望などがだされた。その後会場を替え懇親会が開かれた。

本部広報部長 平田義行

大阪経済大学税理士大権会定期総会

税理士大権会

7月24日(金)午後5時10分より、税理士大権会第18回定期総会が、ハートンホテル心斎橋別館において開催されました。

総会に先立ち、午後3時より近畿税理士会認定の研修として、本学教授・商学博士の渡邊泉先生より「会計における信頼性と有用性」を検証可能性と目的適合性の狭間をテーマに2時間の講演を行っていただき、会員は熱心に研修を行いました。



東和伯会長

総会では東会長の挨拶の後、福元議長のもとで、中坪総務部長、倉田研修部長、市原組織部長、帖佐広報部長、堀田厚生部長、大山事務局長、兼田監事、増垣専務理事が議案の説明をし、全会一致で承認を受け、ご来賓挨拶の後、三木副会長の挨拶で滞りなく総会が終了しました。

第3部の懇親会においては、本学理事長、学校関係者、同窓会関係者のご来賓を迎え、新メンバーを多数含め、AYA(一ノ谷彰・大阪大学奇術研究会OC)さんの妖艶マジックの余興もあつて、佐藤副会長の閉会挨拶まで、終始楽しい2時間を過ごしました。

広報部長 帖佐和孝(45回)

さらなる飛躍を目指して 第9回大樟教育研究会開催

大樟教育研究会

7月18日(土)、つながる力NO.1さらなる飛躍を目指してをテーマに第9回大樟教育研究会が全国各地で教育に携わっている卒業生50名と、重森曉学長以下学校関係者、佐藤同窓会長・役員、さらに将来教師を目指す現役学生10名が参加して開催された。全体会議では講師の畿央大学教

見え。大学同窓会会長でもある日本ジッコウの佐藤社長は、あいさつの中で大学の現状についても触れられた。

会には皆さんのあいさつ、ことに賑やかに盛り上がり、大阪経済大学で学んだ喜びとそれを生かしたそのあとの人生の雄飛、意気軒昂な志が披露され、若い卒業生や現役学生諸君も後に続いて欲しい思いで一杯でした。

急用でお来しになれなかった中林さん(ナカバヤシ)、藤本さん(ホーチキ)、藤縄さんらはご自分の会社に経大生を多く採用されております。大学におかれても、襟度を深め品格ある活気に満ちた学生を一人でも多く育てられることを願ってやみません。

西山昭吾(16回)

夢を持って

日立大権会

わが日立大権会は今年で23年目を迎え、毎年恒例の決起集会が先日行われました。総勢32名からなる本会で、大先輩から学生の皆様に近い方まで幅広いメンバーが集まり、毎年新旧関係なく色々な情報を交換しております。

学生の皆様におかれましては不況の中、厳しい就職活動を余儀なくされている事とお察し申し上げます。しかし、そういう時こそ、「夢を持ち」何としてもこの不況の波を乗り越えて頂きたいと願っております。当会にも高齢の方はおられます。ただそれを微塵も感じさせないバイタリティあふれる方達ばかりです。いつまでも夢を持ち続ける事。これがこれからの時代を担う皆様

株式会社テクノツリー Technotree 事業メニュー: ソフトウェアの受託、開発、システム構築、技術伝承事業、マルチメディア(イラスト/動画/3DCG)によるマニュアル・カタログ等の制作、翻訳、ホームページの制作(大阪経済大学同窓会等)、技術伝承コンテンツ制作(技術・技能伝承/作業標準/安全教材)、技術伝承に関するコンサルティング



の責務です。会員一同、心から応援しております。 三神光二(60回)



眞鍋一美会長

育学部教職支援センター参加の山村安男氏(昭和48年本学大学院修士課程修了・前大阪府立箕面高校校長)がこれからの教職を目指す学生さんが出席していただけるので申し上げます。これから先大阪府では教員採用の枠を広げていきます。チャンス到来です。長らく府の教育委員会で教員採用を経験してきましたが、学校側は現場感覚を持つ即戦力となる人材を求めています。これには学校でのインターンシップを経験し、実践力や、文章表現力をつける必要があります」と基調講演をされた。

北から南から

支部長、各種団体会長からのメッセージ

ご寄稿いただいた支部長、各種団体会長
(敬称略・順不同)

同窓生の皆さんに
ご投稿いただいたテーマ

- 母校で得た私の財産
- 母校への提言
- 私の近況



North to South

母校で得た私の財産

学び舎とは

前北海道支部長 藤岡忠鷹 (24)



私は敬愛する藤田敬三先生のゼミを受けました。卒業以来年賀状だけの往来でしたが、ある年「年賀状も今年限り」としたい、長い間どうもありがたうと、その他……、まもなく訃報を受け取りました。

先生の教えの一つに「週刊誌的な人間にならないように」という言葉がありました。私なりに一般の風潮に流されることなく、良く思索せよということだと理解し、折に触れ思い出しながら74才の今日に至っております。

かように大学では専門的なこと、他後々までも自分自身に影響を及ぼすことが沢山あると思います。先生からもっと多くの事を学んでおけばと後悔しております。

(札幌市厚別区)

大学時代の友人が心の支え

愛知支部長 五十樓保彦 (32)



大阪経済大学在学中は、クラス、クラブ(写真部)、ゼミ、サークル活動等々において、多くの出会いがありました。

在学中に出来た、友、友人、友達、社会に出てからの仕事、私生活におい

て、良き助言者となり、心の支えになりました。

玩具業界で、40数年間頑張ってきた。仕事の中でも、多くの友人が出来ました。大学時代に出来た友人にはかないません。

現在、大経大同窓会活動に参加する中で、先輩、同期、後輩の友人が多く出ています。大経大で得た友人は、私の大きな財産です。

(名古屋守山区)

印象深い故池内信行博士

税理士大樽会々長 東 和伯 (35)

多くの良き教授との出会いがあった。中でも今は亡き池内信行博士の教えが印象深い。先生は「経済とは生活である」と言うのが基本理念であった。企業は派生経済で家計に仕えるものでなければならぬ。そこには企業倫理が包含されていたと思う。今利益主義の企業を顧るとき、先生の嘆きはいかばかりだったであろうか。経営経済学の名のもと純粋科学を追究しながら学問は抽象化すればするほどそれが実践に役立つと説かれた。反面40数年前であるにも関わらず、インタデシプリナルアプローチも今後の学問の研究方法であるとも言われた。「物事の縁を知らざれば学問は何の役に立たぬものなり」は福沢諭吉の言葉である。まさに池内先生は純粋科学を追究しながらこの縁も説かれていたと思われる。この教えを少しでも実践に生かせればと努めています。

(三重県名張市)

陸上競技と歩んだ人生

堺支部長 堀本 修 (24)



私は奈良のへき地の高校出身(県立五条高校)なので、大阪という都会の学校に入学し見るもの聞くものが目新しい毎日だった。陸上競技部に強制的に入学させられ同級生、先輩の方々と一緒に行動することにより都会生活にも慣れ、運動部に入学したことで、よい思い出と楽しい学生生活だったと思う。卒業後は陸上部監督八木田先生との出会いがあり、先生の強い依頼によりOB会長として30年以上陸上競技と一緒に歩んできました。その間スバラシイ後輩達にめぐまれ、関西の大学駅伝の上位常連校として全日本大学駅伝17回出場という他の運動部に出来なかった楽しい思い出を作った。今後は次の世代の方々が今、以上に頑張られる事を信じています。

他の学校と比較して陸上部に対して学校側の理解がないため(今後は今までの様に行かないと思いますが、私の財産は大経大陸上人生そのものが財産です。

(全日本大学、関西学生駅伝、予選会からの出場校の中で競技グラウンド、寮のないのが当校のみと思う)

(堺市西区)

つながる力が私の目標

大樽体育会会長 下垣恒彦 (36)

柔道というスポーツを始めたのは中



学二年生からでありました。始める動機は、兄が柔道をしておりその影響があったと思う。これより、柔道による人とのつながりが始まる。

中学・高校(三田学園)の師である田宮先生に出会い、先生の指導を受けた。本学OBの三宅、寺田(31回卒)の両先輩に出会うこととなる。この人とのつながりで、高校三年生の時、本学柔道部の夏の合宿に参加する機会を得た。その結果兵庫代表として第18回山口国体に出場することが出来、本学に入学することとなりました。本学で柔道部OB萩原市郎先輩(元同窓会会長)に出会う。また、柔道部部長入江正先生、西岡弘先生(柔道部師範)との出会いもこの時である。学生時代この良き先輩に出会えたことが、私の後の人生の中で重大な影響を与え、社会生活も無事勤め上げることが出来た。出会えた先輩の志を引き継ぐため、母校の柔道部OB会の会長を受けて6年目に入る。この間に本校体育会クラブ(体連協)鮫島会長、現大樽体育会顧問との出会いがあり、平成21年1月には現大樽体育会の会長を引き継ぐこととなる。ここで、同窓会佐藤会長と出会い、勝田理事、重森学長、他学校関係者との出会いができました。出会いがつながりであり、出会う人はみな師であります。師の教えを受け、つながる力のスローガンのもと、今後の人生をまっとうしたいと思っています。

(大阪府高槻市)

大学時代で生涯の仕事を見つける

北摂支部幹事 細井三郎 (35)



在学中は英文タイプ部に所属し、気楽な学生生活を送り、卒業後は情報処理分野へ進んだ。40年前のコンピュータは主に大量データ処理として活用されていた。英文タイプ部のノウハウを生かしコンピュータ学校のパンチャー講師をはじめに、製造会社の情報処理部門でシステム開発を行う。製造システムは販売・計画・購買・原価・会計・品管がシステム連携されます。

卒業後、前半20年は企業での独自システム開発を手掛け、後半20年は会社を設立し、ERPパッケージ(SAP/PP)の導入コンサルタントとして生業を立てました。(ERPは情報システムのつながる力。現在は経営情報学部が得意な卒業生が、情報処理分野で活躍されることを期待致します。

※ERP(enterprise resource planning) 企業資源計画

(大阪府高槻市)

参考になった中小企業見学

神戸支部長 下土井康晴 (25)

原稿を書くに当たって今年には卒業50年を迎えたことに気がつきました。財産といえば竹村教授ゼミで、当時の中小企業を見学して回ったことが、現在の経営に大変参考になっています。その時すでに絶縁物成形業をしておりましたが、業種が変わっても、経営の基本は変わらないと学んだことです。今年

合気道部の4年間ですべて

淡路島支部長 竹内通弘 (34)



「世界中の秋晴れを集めたような今日の東京の青空です。」というアナウンスの言葉で、第18回オリンピック東京大会が開催された昭和39年4月に、私は大経大に入学しました。運動部に入れたかったので、友人と相談し、後期が始まる頃に合気道部に入部しました。学生としての学びも忘れず、合気道部員として非常に苦しかった1年生、少しは心身ともに成長した2年生、部としての運営責任まで考えた3年生、神様のような存在の4年生とすべて経験させて頂いた。所謂世間というものを学ばせてもらったのである。いかなる場合においても自分の置かれた立場で精一杯努力する事が最善であると、還暦を越えた今も、念頭に置いて暮らしております。

(兵庫県洲本市)

誇り高く燃えてみたい

奈良県支部長 西本集一 (23)



父はすでに亡くなったが、若いころ、私にボツリと言ったことがある。そこは王様大学で。そのころ旧国鉄(大阪駅助役)にいた父は本学の卒業生を何人か知っていたようです。私が卒業した当時はえらい就職難の時代でした。そんな中でなんとか大阪日産に就職でき、営業担当になりました。

受け持ち区域は大阪の東成方面。地図一枚を下げて全く知らない町を朝から晩まで歩き通しました。当時日産はダットサンとブルーバードを主力車種にして売り込み攻勢をかけていました。同期の社員は全国から百人近くもいました。負けたらいかん、負けたら大学の恥や、と必死に頑張った記憶があります。

自分で言うのもなんですが、人懐こい顔をしていたためか、奥さま自動車教室というTV番組などに出て日産車の宣伝をさせてもらいました。まだ白黒TVのころで指名が入るなどして順調に営業をこなすことができました。話は後先になりませんが、在学当時は新聞会とESSクラブに入っていました。ゼミは藤田敏三先生。何でも足腰強く地道にやるのが学風のようになっていました。「よし、やったらやないか」との心意気で地道にやってきましたから、今の大学があるように思います。

地元の町議会議員を五期連続でさせてもらっています。信条は「地域共

生」です。皆さんのお世話をさせていただけことに喜びを感じるからです。大樟会や支部は大学を支えるパワーです。地域に根を張る力で誇り業生一人々がその「力」になって誇り高く燃えてみたいものです。

(奈良県葛城郡)

同級生との飲み会が何より

津山支部長 竹本 巧 (37)



卒業して早や38年。人生の一つの節目である還暦を迎えました。

「こちらでちよつと一休みと言いたいところですが、私は小さな会社の経営者であり苦しい中、もう少し踏んばろうと思っております。そんな中、仕事のストレスの解消法が数名の同級生との月一回の飲み会です。仕事を忘れ裸の付き合いができ、おいしくお酒が飲めることは、明日への活力へとつながっていきます。

大阪での下宿生活は「三丁目の夕日」を思わせる貧しさとも温かな交流があり、年と共に懐かしさが膨らんできています。また年一回支部総会があり、多くの同窓生が楽しみに出席してくれ、大変感謝しており、気持ちはつながっていると痛感しております。

(岡山県津山市)

役に立った「在学中の資格」

広島支部長 陰山秀明 (44)

大学在学中に何か「資格」を、と思いついて「簿記」に挑戦することに決め、クラブ



も「税理研究会」に入部。初めての勉強。授業終了後の先輩のアルバイト指導、受験勉強よりハードでした。日商簿記3・2・1級を見事制覇。3回生には税理士試験にも挑戦。そして就職先は銀行。在学中の勉強が大いに役に立ちました。そして、現在は「経営者」という立場。理念も大切ですが、「財務」もまた大切。いろいろな場面、4年間の勉強等々が今も生かされている事に感謝しています。

今も大学に訪問させていただくと昔の校舎は無くなりましたが、当時の「苦闘苦闘」の毎日が思い出されてなりません。

(広島県安芸郡)

私を育ててくれたCBS文化放送局

山口支部長 小林真人 (32)



母校を卒業して早44年。学生時代の経験が生かされたと言えはCBS文化放送局だ。お陰でニュースキャスターを20数年勤めさせていただき感謝している。退職後は秒の世界を卒業したく、山口市教育委員会へ6年間お世話になった。

08年4月からは人生のゴールデンウィークを満喫しようと思っていたが、また6月から縁あつて総務省の委託を受けて地上デジタルサポート説明会事務局(月の半分程度出勤している。山口県内全域をまわり2011年7月24日までに放送を終了するアナログ放送から、デジタル放送に対応する準備をしていた)のための説明会を開催している。人前で話すことについては現役時代の経

多くの方々と知り合う

高知支部長 野崎邦男 (32)

何と言っても、人です。クラブ活動、ゼミ、下宿生活を通じて出会った恩師、先輩、友人、多くの方々と知り合えた事が何よりもの財産です。

授業で習った事は少しは身についていたかも知れませんが、現在となつては恥ずかしながらも何が残っているかは定かでない。

残念なことにもその大切な財産も段々疎遠になったり、他界されたりして減るばかりである。ありがたい事に母校同窓会は小さな支部まで大事にし、人の繋がり財産を守ってくれていると思います。

(高知市北本町)

グリーククラブで楽しい学園生活

大分支部長 寒田 陽 (40)

昭和45年に学園に入学しました。当時は、大阪万博が開催され、学生運動も下火とはいへ、まだその名残がありました。枚方の県人寮から一時間半かかって通学していましたが、2回生の時に学園の近くに引越しました。大学では、グリーククラブに入部し、演奏旅行や定期演奏会やジョイント演奏会などさまざまな行事に参加することができました。クラブの先輩、後輩もでき、他の大学の友人もできて、楽しい学園生活をおくることができました。

母校への想い

残念！不祥事

東京支部長 藤本二郎 (34)



7月1日母校の後輩が大麻取締法違反で逮捕されたというニュースは東京でも報道された。変シヨクを受けた。最近色々な大学で不祥事が多発しているが、わが母校だけは悪い意味で新聞沙汰になることが少なく誇りに思っていたが、今回の事件は大変残念至極である。

最近世の中はコンプライアンス(法令遵守)ということが非常に重要視される時代。それはわれわれ企業も学校も同じ、ひとたび大きなコンプライアンス上の不祥事を起こし、またその対応を一步間違え、永年におたり先輩諸兄が築き上げてきた伝統や歴史、誇りや名譽が一瞬にして水泡に帰す。今起つた不祥事は看過されるものではないが、幸に大学当局のとつた対応は大変迅速で当を得たものであったことが救いであった。

(東京都八王子市)

在学生に社労士の資格取得を

社労士大樟会々長 久保太郎 (31)



社労士に対する社会の認知度が急上昇し、また学生たちが多数合格している状況を目のあたりにしています。社労士大樟会も発足し、今後積極的に社労士にチャレンジする後輩が育つことを願つてやみません。本学のミッションステートメントに記されているとおり、在学中に資格を取得し即戦力の人材を企業に送り出すことにより、就職先が大きく広まると考えております。

教育目標である「人間的実学」に基づき入学から卒業までの間で、学生生活を充実させながら、キャリア形成の支援として社労士の資格取得に向けた学習を体系的に支援できれば、本学のますますの発展と、学生自身のキャリアアップを目ざすことができると確信しております。

(兵庫県尼崎市)

多数の自治体職員の出

阪神支部長 進木伸次郎 (33)

今や、国と地方の役割分担を明確化する本格的な地方分権時代の到来です。とりわけ雇用環境の悪化の回復策として、ハローワークを地方へ委譲する可能性がります。元々、日本経済の下支は地方の商工・農業・漁業等が自治体と連携してきた歴史からして当然と言えます。今後ますます各種行政分野に権限委譲が進む事は、自治体職員の政策力など「都市経営

出でよ！後輩教員

大樟教育研究会々長 眞鍋一美 (32)

「マネージメント」の出来る人材が多く求められます。西宮市には公務員が現在、全体で3550人おりますが、本校はわずか25人。近隣市においても情報交換が可能である後輩の入職を望んでいます。大学当局には、こういった時代背景をくんでいただき、学内に公務員コースの設置を願ひ、多くの後輩を全国の自治体へ送って下さい。

(兵庫県西宮市)

中小企業後継者の学部を

熊本支部長 濱 忍 (35)



全国の同窓生諸兄お元氣でしょうか。私も卒業以来40年を過ぎ、九州の一地方都市で小さな会社を経営し現役で過しております。学生時代は「反帝・闘争」全学連の波にもまれ多感な時を過ごしました。「いちご白書」の中の言葉の様な甘いことは何も無く部室と下宿との往復であった。先般クラブのOB会40周年が行われ、後輩の諸君の昔と変わらない魂の叫びを聞きながら、懐かしい思い出として、非常な喜びを感じたものです。われわれも平均寿命まで残すところ20年弱、何かを考え自己の存在を見つめる時期が訪れたよう

誇りをもてる大学へ

北九州支部長 植田達三 (52)

同窓会北九州支部は、北部九州の福



平成21年で奇しくも卒業60年になるので、ぜひ記念のため同期会をやりたいと、11月3日の同窓会総会に出席した本田・松本両名と小生で意見一致し、平成21年4月11日に実施しました。50周年記念以後10年間何も出来なかった事、世話人として誠に申し訳なくお詫び申し上げる次第です。当日は重森学長先生及び同窓会の中村事務局長の「ご出席を得、同期19名の出席で(出席回答20名に対し)1名欠席(欠席振りの同期会となり、戦前戦後を通じた波乱万丈の世代ではあったが、各位ニクで愉快な話題が続出、終了するまで終始なごやかな会でした。今後出来れば毎年一回ないし2年に一度は同期会を実施することを約し、解散となりました。」

黒田稔(15回)

卒業60周年記念同期会

15期会

区)で同期会を開催した。常連で体調を崩した人が続出して、十四名の参加であったが、戦後の苦勞をともにし、大学の基盤を造りあげた同士の集いに、いささかの「ボケ」はなく、「仙人」の心境に達し、盛りあがり支障はなかった。また、「激動の昭和を駆け抜けた歌の数々」として、中村行男君芳作になる往時のままの歌声を二本のテープ



戦後の混乱や、その後の学制改革のため、入学年令がバラバラであった私たちは、「傘寿」という区切りの年を迎えた。すなわち、最も若い出生者は、昭和五年である。挙つて長寿を祝うべきであるが一方、不幸にして病氣などの理由で世を去った諸君には哀悼の意を表したい。この中で、私たちが「傘寿」の尊さを噛みしめながら、昨年5月11日(月)、ホテル一栄(大阪市浪速区)で同期会を開催した。常連で体調を崩した人が続出して、十四名の参加であったが、戦後の苦勞をともにし、大学の基盤を造りあげた同士の集いに、いささかの「ボケ」はなく、「仙人」の心境に達し、盛りあがり支障はなかった。また、「激動の昭和を駆け抜けた歌の数々」として、中村行男君芳作になる往時のままの歌声を二本のテープ

君と僕が二人になつても

16・18回同期会(傘寿記念)

す。同窓生諸氏の健勝を願うものです。最後に大学当局へのお願いがありません。中小企業後継者を対象とした学部・学科の創設をぜひご検討頂きたいと思ひます。

(熊本県八代市)

同窓会も大学も自浄作用を

南九州支部長 前園博隆(34)



大学に進むとき父から「関西の地理、経済、社会情勢を学び良き学友と師を得よ。」と、一筆したためられ進学しました。苦しい経済状況から涙したのも45年前でした。

私の近況

大阪は第二のふるさと

静岡県支部長 大塩博喜(40)



卒業後、静岡に帰り25年余りが過ぎたある日、大阪経済大学同窓会静岡支部が設立されるとの案内を頂き胸躍らせて参加したのを覚えています。

その後、現在まで10年間にわたり同窓生に会えること、大学や同窓会の近況報告を受けることを楽しみに、支部総会には毎年参加して来ました。その後懐かしさのあまり何回か大阪に足を運び、大阪経済大学での授業、部活、ゼミ、下宿等での生活を思いながら、第二の

同窓会の機能にも、大学の組織にも自浄作用を求めます。自慢話の展覧でなく、他人への配慮を先におき、前進への糧とする組織になつて欲しいと思ひます。

2011年に九州新幹線的全線開通に伴い大阪直行便が一時間に一本鹿児島を発ちます。今再び大阪と鹿児島島の経済交流が進み、西日本の発展とアジアの拠点として蘇生することを期待しています。同窓生の皆様の南九州への来訪を心からお待ちします。駐れ大経大、先ず学問の充実、それは就活の最大の武器です。大学とは勉強をするところである。

(鹿児島市堀江町)

故郷である大阪の街を歩き回りました。さて、静岡県支部では今年度支部結成10周年を期に役員改選の話が持ち上がり、諸先輩方が多数おいでになるにもかかわらず、世代交代をとのことから支部長を私にという話になり、驚くとともに責任の重大さを痛感してるところです。どこまでできるかわかりませんが、少しでも同窓会活動のお役に立てればと思う今日この頃です。

(静岡市駿河区)

大阪経済大学を卒業して思うこと

明石支部長 佐藤武司(30)



私が卒業したのは昭和39年で、まだまだ日本の経済も戦後を引きずつた激動の時代でした。就職も決して楽ではない時代でしたが、

私はスチール家具の「岡村製作所」に入社。この年の新入社員は卒業生だけで60名余り。全国の有名大学の卒業生の中に経大卒は確か3名だったと思ひます。そんな中わが大学は単科大学、総合大学の連中に負けてはならじと頑張つたものです。その後独立して今日があるのですが、当時の学生時代を思い起こせば、良き先生方に恵まれ、良き友に出会い、人情味のある暖かい大学でした。今も大学との縁で、同窓会の役員として全国の支部総会にも出席させて頂き、さらに多くの方々

と縁が出来た事に感謝しています。まさに現在は少子化の時代、大学の経営も厳しい時代ですが、そんな時代でも生き残りさらなる発展を遂げたいかなくはなりません。わが母校は80年に近い伝統と歴史があり8万人を超える卒業生を輩出し、広い分野で活躍されておられます。しかしこれからの時代を考へる時、伝統や歴史だけでなく、やはり個性的で、就職に強く、経済分野で日本をリードする大学を目指さなくてはなりません。誰もが「俺は大阪経済大学の卒業生だぞ」と言えるような大学に育てて行こうではありませんか。私は大阪経済大学を卒業したことに大なる感謝と誇りを持つています。これからの大学のさらなる発展を祈念して一文と致します。

(神戸市西区)

母校の変貌に驚く

姫路支部長 林 和信(32)

母校卒業後地元金融機関、定年後地域医療機関に勤めております。

にまとめたものを出席者全員に記念品として配布した。同窓会の中でも卒業後毎年連続して開催し、長い歴史を保ち続けていることに誇りを持ち、「君と僕が二人になつても、この会の火を消すことなく、」を合言葉にお互いを励まし合つて・・・

酒井克己(16回)

23期生の集い

23期生会

今回で25回目となる「23期生の集い」です。昨年は22名の同窓生と大学から中尾副学長、同窓会から中村事務局長をお迎えして昨年の2月15日開催しました。久しぶりに皆さまの元気な姿を拝見して楽しく過す事が出来、喜んでおります。また中尾副学長より「運動と健康づくり」について詳



生友を求めて歩む旅、と申しますが、小・中・高・大学・職場と数多くの友達、先輩後輩に恵まれ、毎日仕事とうまくもないゴルフを年に六十回前後、健康管理も兼ねて楽しんでます65才の平凡な私です。今年支部長を仰付かり、43年振りに母校へ訪れる機会を戴き、上新庄から大学への町並みと立派な建物の母校の変貌に大変驚かされました。

私達の支部にも、私同様卒業後何十年も訪れる機会が無い方がおられると思ひますと、大きく変貌した母校を一度見学してもらおう事も良い思い出を作ってもらえるのではないかと感じました。私の支部長の間支部の方々を訪問する機会を作りたと思ひつています。

(兵庫県神崎郡)

三嶋不動産鑑定事務所 (旧 但馬不動産鑑定事務所)

土地・建物の鑑定評価
不動産鑑定士 三嶋 達男

「京都北部・但馬・兵庫丹波・他の評価」

福知山市和久市町265番200号
TEL/FAX: 0773-24-2754
携帯電話: 090-4808-7767
(連絡)鳥取県～湯梨浜はわい温泉30-7

元氣一筋、50年に及ぶおつきあひ新年会をかね「瀬江27期会」

瀬江27期会

瀬江27期会が昨年1月16日(金)ホテルモントレ大阪大阪市北区で開かれました。

瀬江27期会は、第27回生(昭和36(1961)年3月卒業された397名の方々)の同期会で発足以来、半世紀に及ぶ活動と歴史を経ており、古希を迎えられた今も皆さんお元気で楽しい方々ばかりです。

当日の出席者は27期会代表幹事の正村公一さん(滋賀支部長)をはじめ、車野修三(泉南支部長)、岸野光男、松田英志、前河正博、神代憲路、角本喜八郎さんの皆さん。大学からは大阪経済大学名誉教授の岡本昌夫先生がお越しになりました。ちなみに岡本先生は瀬江27期会の名誉顧問をされており、先生を囲み昔話になると、「おい、お前、あの時はな」と50年の時を超え、暖かい師弟関係に戻ります。お



参加者は先生の奥様をはじめ16名がお越しになり、福井の野沢先輩はご家族でご参加され、ほほえましい光景でした。

中村九一先生が旅立たれてから早いもので10年が経ちました。それを記念して平成21年4月5日(日)に先生のご自宅近くになります京都御所の桜狩り散策をかね総会をJR京都駅横のチャイニーズレストラン「福幸」で開きました。このレストランは先生のこひいきのお店です。京都グランビシアホテルのロビーに朝10時半に集合。それぞれが「お元気ですか」の挨拶を交わし全員揃ったところで、地下鉄で京都御所に向かいました。その日は朝から不安定な天気でしたが、御所の桜は私たちが一行がついた頃信じられないくらい一気に満開となり、文字通り「春爛漫」となりました。これも先生のお陰だと思ひ、追憶を新たにしました。

あれから10年 満開の桜に師を偲ぶ 九一会総会と京都御所桜狩り 九一会(中村九一) 中村九一(30)OB会



4月11日(土)に「高城寛先生を偲ぶ会」が大阪(京橋)で開催されました。7年前の2002年に高城先生が名誉教授に就任された時に、初めて開催された「高翔会」で、高城先生にお会いしたのが、つい最近のことのように思われます。

諸先輩方の高城先生との楽しい心温まるエピソードをお聞きして、先生のお人柄が鮮明に思い出され、当時にタイムスリップしたようなものもなつかしい、楽しい時間を過ごすことができました。

高城寛先生を偲ぶ会 高翔会(高城ゼミOB会)

た。今回は13回忌に再会しようという約し先生の偲ぶ会は無事終了しました。 中村恵信(40回)



青い眼の道場主の指南を受ける空手部員と子供たち

昨年7月4日(土)午後、フランスを中心にヨーロッパ各地で空手道の普及に努める本学空手道部OBの蒲原勉氏(39回卒)が、フランス、イギリスの空手道門下生7名を含む一行11名を連れて本学を訪れ、体育館で空手道部員と合同練習を行った。

蒲原氏は、いまから35年前、空手道部の南部先輩の誘いを受けてフランスに渡り、イギリス、ドイツなどヨーロッパ各地の空手道道場で指導を続け、今や5000人を超える門下生を抱えているという。

今年もフランス、イギリスから空手道部へ練習参加 空手道部

月3日の大学で行われる同窓会総会で「高翔会」として再会致しましょう。 中山真澄(56回)

平成21年度硬式庭球部OB総会並びに新入部員歓迎会を開催 硬式庭球部OB会



広報部

ン・オリンピックでは空手道を公開競技として取り上げられるそう、ヨーロッパでは空手道に対する関心が大変盛り上がりつつあります。昨年はギリシャからの門下生をお迎えしましたが、これに引き続いて、こうした国際交流の場を持つという事は、本学空手道部にとっても好ましいことであり、大変喜んでおります」と、空手道部OB会長の佐藤武司氏(同窓会長)も、今回の青い目の空手道訪日団一行を歓迎しておられた。



せり料理を思わず美味しい食事と飲み放題のお酒に皆さん、お正月が戻ってきたようでそれは楽しいひと時でした。 次回は今年2月19日(金)、澁江27期会のメモリアルとなる「50回」記念です。新しく卒回理事に選出された神代憲治さんは「1人でも多くの方がお越しになるよう今から準備します」とやる気満々でした。

それぞれの人生を語る 第5回「30周年卒」同期会 第30期生会

平成17年に発足しました「30回卒」の5回目となる同期会が7月26日、同窓会ホールで開催されました。同窓会会長でもある佐藤武司さんのあいさつに始まり、全出席者が3分間の持ち時間で卒業後の歩み、教訓、近況などそれぞれの思いが語られました。中でも印象深かったのは、四国88ヶ所を46日間で歩いて満願された松浦史磨

さんの話でした。 満願された松浦さんのパワーをいただくこと、松浦さんの乾杯発声で宴は始まり、笑顔の語りでの親睦交流はこの上もなく盛り上がりました。記念の集合写真の後、学歌、道遥歌、選手送歌までの歌詞がそれぞれ2番まで用意されラジカセから流れる吹奏楽総部の伴奏に合わせ、声高らかに3曲を全員で熱唱しました。同期会で歌う学歌は極みの1つであり、印象深いものがありました。

来年の同期会の再会を鶴首しようというところで宴はお開きとなりました。 長尾雅夫(30回)



40名が一堂に 初の32同期会を開催 32期生会

本部の竹中亨事務局次長から32期

(昭和41年卒)でいつか集まろうという話がかねてからあったが、それが実現した。平成21年11月に開催された母校の同窓会総会終了後、会場をC館の教室に移して開催された。

出席者は、旧江口寮生など40名が顔を合わせた。中には夫婦同伴での出席者もおられ実に43年ぶりの再会である。と言っても同期生は1075名もいたのだから顔見知りはいくつぞしか。しかし同期生という固い絆に結ばれた40人はすぐにうち解けることが出来たのは不思議だ。

会では、まず簡単な自己紹介から始まった。中には卒業以来初めて母校を訪ねたという人もおり、様変わりした母校を見て感激された様子であった。同期生は現役を退いたものの、福井、愛知、備後、山口、高知、姫路、宮崎、北播磨の各支部長、大樽教育研究会会長らも同窓会の中核として現在もご尽力をされているのは心強く感じた。参加者の中で一番感動したのは羽根



旧交を温め親睦を深めよう II部軽音楽部OB

II部軽音楽部OBの皆さん、旧交を温め親睦を深めましょう。 昭和42年8名でII部ギター同好会として発足し、昭和45年に「II部軽音楽部」と改名いたしました。これを機に皆さんと再会したいと思います。皆さんの消息をお知らせください。(連絡先) 〒554-0051 大阪市此花区西島3-15-39-1403 TEL:06-6468-5738 世話人代表 生島紘(41回)



6月6日(土)7日(日)、京都宇治河畔の民宿「亀石楼」で1泊2日のOB会を開催致しました。6日は14時30分に全国から30名が参集しました。昨年50周年の集い以来1年ぶりという人もあれば時々同期生だけの集まりでなじみの顔の人もみうけられます。今回223名のOB諸氏に通知を送り90通の返信がありました。各自部屋割りの後15時より総会を開催。20年度の活動報告、会計報告、同期会の活動援助、HP開設の経緯「てくてく」例会の今後、その他を協議約16時30分頃総会を終了しました。その後18時30分まで自由時間で入浴付近の散策、相変わらぬダベリングなどに興じ、いよいよ楽しみの宴会となりました。宴も酣となりカラオケを

2009年度 経翔会ワンダフルOB会1泊2日で総会を開催

ワンダフルフォーゲル部OB会



た。総会では挨拶に立った和田好弘OB会長(29回卒)は「昨年は男子部が4年ぶりに4部復帰を果たし、新たに学連に加盟した女子部も、京都工芸繊維大、四天王寺大、滋賀医科大学、摂南大に勝ち、準決勝で大阪学院大に惜敗し、昇格を逸したが、将来に期待を感じさせる活躍をする」ことができた。これもOB諸氏の「支援の賜物」と感謝しております。ただ、部員数も少なく、学連に支払うエントリー代にも事欠く状況で、OBからの資金面での支援が急務となっております。昨年度は45名のOB諸氏から会費、寄付金を含めて32万5千円の資金を集めることができましたが、本年度もより積極的なご支援をお願いする次第です」と、さらなる現役支援を要請した。総会終了後、今年入部した男子3名、女子3名の歓迎会に移り、久しぶりに学校を訪れたOBと若々しい新入部員との交流の場が開かれたが、1、2年生はアルコール禁止令が出ており、

1959年(昭和34年)創部のアイススケート部が今年50周年を迎え、6月6日(土)記念式典と懇親会が本学同窓会ホールで盛大に開かれた。出席者はアイススケート部OB会会長の西岡興治さん(29回)はじめOB44名、現役部員22名、来賓として大阪経済大学重森暁学長はじめ各府県連の代表者、大阪経済大学体育会本部の役員ら18名が出席した。広い同窓会ホールには100名近い人々が半世紀に及ぶアイススケート部の輝かしい戦績に賞賛を贈る一方、さらなる活躍を期待する声もあふれた。式典は5代目監督の梶村貞男さん(37回)の軽妙な司会で始まる。物故者への黙祷のあと西岡OB会長が「当部は優秀な部員が多いにも関わらずなかなか優勝できなかった。それが

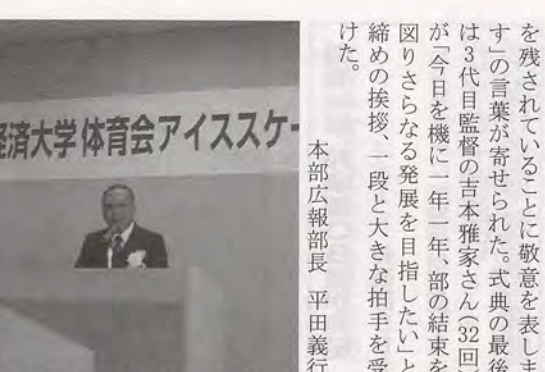
昔の歓迎会とは一味違った雰囲気、時代の移り変わりを感ぜられた。なお、午前中に開かれた恒例のOB戦では中山(29回卒)開地(3回生)組が優勝し、敗者復活戦で森川(27回卒)山本(3回生)組がそれぞれ優勝した。森川義一(25回) 柔道部OB会

平成21年3月29日、南船場ヴィエラにおいて平成21年度総会を開催しました。当日は吉田相談役を始め平成卒業の若いOBの多数の出席があり、総会90名の参加のもと石橋事務局長の開会宣言と司会が始まりました。入江前部長、萩原先輩を始め物古者の宴福を祈り、挨拶後、下垣会長挨拶の後議事に入り、20年度会計報告、事業報告、会計監査報告を行い、いずれも参加者全員異議なく承認されました。引き続き21年会計予算案、事業計画案の説明があり、原案通り承認されました。以上で総会は終了し続いてOB親睦会及び現役卒業生と新入生の歓送会に移りました。来賓に大橋部長先生、西岡弘師範及び同窓会本部より竹中事務局次長をお招きして始まりました。会長挨拶の後、大橋部長先生、西岡師範、竹中事務局次長からもご挨拶を賜り、吉田相談役の乾杯のご発声で和やかな交流の輪が広がりました。宴の半ばで安田監督より卒業生・新入生の紹介があり、今年も全

歌う者、昔の歌集から思い出の歌を歌う者、日な教え歌を歌う者等々、しかし最後はやはり全員が学歌で締めくくるところはたいしたもの。翌日は7時起床朝食の後9時30分から2コースに分かれてワンダフルそれぞれ民宿での弁当を肩に約2時間30分のコースをてくてくしました。13時30分所定の塔の島・宇治川先陣の陣に集合、来年の再会を楽しみに現地解散となりました。経翔会会長 牧田征雄(31回)

1973年、高橋一さん(6代目現監督)が群馬県伊香保で行われた関西学生水上選手権大会1500メートルで初めて優勝した。実に10数年かかったのを覚えています。1982、83年はフィギアスケートでも2連覇しました。以来選手層も厚みが増し2004年(平成16年)からは4年連続ロングトラックで総合優勝を果たし、文字通り関西はもとより全国的にも実力校となりました。ご承知の通り2005年度に上村大輔君(ユニバーシアード2度出場)が入部してからショートトラックでも常勝チームになったといっても過言ではありません。来年カナダ・バンクーバーで開かれる冬季オリンピックの日本代表に選ばれることを期待しています。もし選ばれますと、大学始まって以来の快挙です。今、ナショナルチームの特別強化合宿中で今日は来ておりませんが、代わって上村君のお父さんがご臨席されておられます。当部も50周年を迎えましたがこれも通過点と考えさらには先を目指していきたい」と挨拶された。

次いで重森学長が「2004年の関西学生水上選手権で初の総合優勝をされて以来、目覚ましい活躍をされておられる50周年の賜としてOB・OGの皆さんの努力の賜としてお礼を申しあげます。大学が毎年行っておられます課外活動表彰では当部はいつも誰かが入賞されており、わが大学のスポーツクラブ活性化のシンボルといえます。またスポーツ強化クラブにも選ばれ、50年にわたる。つながる力がさらに広がり、世界に羽ばたくアイススケート部に成長されますこと



50周年式典で挨拶されるOB会会長の西岡興治さん

平成21年7月25日、本学E館同窓会ホールにて、21年度の総会を開催しました。競技スキー部は昨年、創部50周年を迎え、10月18日に記念式典を行いました。当日は、全関西学生スキー連盟会長をはじめ、重森暁学長、初代顧問の山本晴義元学長、土居充夫現部長先生方々をご招待、また

平成21年度競技スキー部OB会定時総会開催

経雪会(競技スキー部OB会)

平成21年5月19、20日の両日、大経大柔道部OB寄多郎会(昭和33年(37年卒)の総勢17名が京の奥座敷、湯の花温泉郷の一隅、旅荘「烟河」にて年1回恒例の、のんびり、ゆつくり、寛ぎの2日間の旅を里山で満喫した。かまぼろ風の露天風呂付の5部屋を取り、夜はその1室で大学の将来、運動部の活躍や経済の動き、その他の話題で時の過ぎるのを忘れ議論を交わした。「烟河」とは聞きなれない地名だがこのあたり、昔は由緒ある地域であったようだ。

平成21年5月19、20日の両日、大経大柔道部OB寄多郎会(昭和33年(37年卒)の総勢17名が京の奥座敷、湯の花温泉郷の一隅、旅荘「烟河」にて年1回恒例の、のんびり、ゆつくり、寛ぎの2日間の旅を里山で満喫した。かまぼろ風の露天風呂付の5部屋を取り、夜はその1室で大学の将来、運動部の活躍や経済の動き、その他の話題で時の過ぎるのを忘れ議論を交わした。「烟河」とは聞きなれない地名だがこのあたり、昔は由緒ある地域であったようだ。



あいさつをされる西岡弘師範

にきほえる民のかまどやちかからし



伊藤宏(27回)

延慶2年、花園天皇の大嘗会の時の歌である。烟河とは現在、亀岡市本梅町中野を貫流する「本梅川」の別名であつて、この地域が古くから「烟河」と呼ばれていたようである。湯の花温泉郷は大阪からも京都からも近く、またJR亀岡駅からは善政を施し領民から慕われていた明智光秀公の居城「亀岡城跡」が近く、光秀公の首塚が木漏れ日の中、ひっそりとした佇まいを見せていた。道程には京の秘境、保津川溪谷の船旅で水しぶきを浴びるのもよし、四季折々の山端の美しい自然の絶景をトロッコ列車に揺られ鉄橋上から見るとまたよし、共に嵐山には約30分で行ける。この地域は大阪あたりから案内知られていない名所かも知れない。

OBも50数名参集し、盛大な式典となりました。創始者でたった一人からスキー部を作られた、谷名誉会長、同好会から部の昇格へと苦勞なされた東條現会長の思い出話など、皆、感慨無量でした。

競技スキー部が半世紀を迎える事が出来たのも、諸先輩、並びに諸先生方、他大学スキー部等のご指導、ご協力の賜である、心より敬意とお礼を申し上げます。

今年の定時総会は、ぜひ母校に集って総会を、という声を反映して本学で行ったのですが、50周年が盛大だったのか、少々淋しい出席者ではありませんか。

OB会は「経雪会」と称し、2年毎の定時総会で、活動報告、会計報告、会則の必要事項の決議等をし、旧交をあたためております。また総会のない年には幹事会を開き、現役をよりサポート出来るようにしております。

今後とも、体育会競技スキー部を、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

競技スキー部監督、経雪会幹事 岩下義之(46回)

12年ぶりに全日本大学駅伝に出場 強豪相手に17位でゴール

陸上競技部

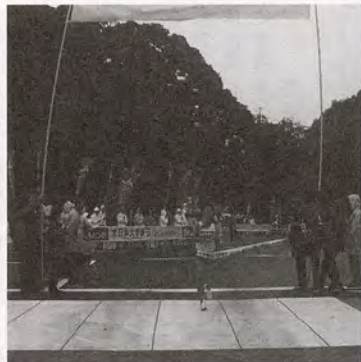
第41回全日本大学駅伝対校選手権大会が11月1日(日)、名古屋市熱田神宮から三重県伊勢神宮までの8区間106.8キロに26チームが参加して行われた。12年ぶりの出場を果たした経大の上部は、並みいる関東の強豪大学に挑戦、17位と健闘した。秋の



応援に来られた勝田理事長、右は陸上競技部監督の青木泰泰さん



熱田神宮前をスタートした選手たち



経大アンカーの樋口幸平選手 17位でゴール

伊勢路に、勝田理事長はじめ同窓会

関係者が応援に駆けつけ、声援を送った。

本部広報部長 平田義行

4月から鶴谷氏が監督就任



高校陸上界の優秀な指導者といわれる鶴谷邦弘氏(現報徳学園高等学校校総監督)が4月1日より大経大の上陸部の監督に就任する。鶴谷氏は現役時代、全国高校駅伝に17回出場、その中で優勝6回、準優勝2回、3位3回、5位3回という実績があり、全国の大学、実業団の監督、コーチを多数育てている。経大の前、現監督も教え子の一人。選手の前、現監督も鶴谷氏は「大学駅伝では、全国制覇を目指し、常にマスコミにできるような私も頑張るから皆さんも頑張ってください」と選手にあいさつされた。

永遠の青春”法研魂“

法学(律)研究部OB会

6月27日、小泉、竹中不況による格差社会の拡大や新型インフルエンザに対する過剰対応の中、最古の湯「有馬」の地にてOB会が開催され全国各地より15名が参集した。24年ぶりの38回西村君による開会宣言、最古参24回多賀氏の祝辞、26回土屋氏の乾杯の言葉で始まった懇親会は最高に達し、「法研魂」を再認識する酒杯と近況報告が続いた。記念撮影後、恒例の逍遙歌学歌を

大槻弘先生のご冥福を!

川西市役所大槻会

恒例の親睦会が2月6日(金)、豊中市内の順平において開催されました。(参加18名)

本会は昭和52年に発足し川西市の市会議員と市職員等(OB含む)による構成で会員数は38名です。

親睦会の当日、一般会員代表の竹中文博氏(市議会事務局)による開会挨拶、その後、特別会員の大槻弘先生が2月3日に永眠されたため、参加者全員で黙禱し大槻先生のご冥福を祈願しました。

次に、来賓祝辞を同窓会本部副会長の田村正晴氏にお願いし大学の近況報告をしていただいた後OB会員を代表して荒木登久氏による乾杯と



連絡先 西野博子(旧姓津田)(44回) TEL07263350647



続き、在りし日の大槻弘先生を偲びながら、会員相互の交友を深め、なつかしい一時を過ごすことが出来ました。住家幸三(45回)

11月7日午後4時、石川から小島氏(44回)、島根から安部氏(44回)、和歌山から森本氏(44回)、三重から中川氏、野崎氏(ともに43回)、大阪から柴田氏、刈谷氏(ともに42回)、今村氏(43回)、三田から中河氏、森脇(ともに43回)の10名が秋晴れの兵庫県城崎温泉駅に集合しました。30名以上に声を掛けましたが4年前の旅行と同様の人数となりました。中でも50を半分超えている中川氏がおじさんライダーで三重からバイクでやってきました。懐かしい顔ばかりで2008年2月の本校でのOB総会以来1年9か月ぶりの再会です。

早速築100年の旅館「お宿はやかわ」にチェックインし夕食までの時間外湯めぐりに一同出かけました。6時より9時まで11月に解禁となった蟹を早速フルコースで堪能し、アルコールも入る仕事から孫の話まで大いに盛り上がり、最後は柴田氏のエルで一次会は終了し、その後は夜の温泉街へ繰り出しました。翌8日も朝から快晴。宿ではタグ付の蟹をお土産に買う野崎と今村でしたみやげ店よりはるかに安い!。チェックアウトしその後は車で10分の城崎マリナーワールドでゆっくりトド、イルカ、アシカのショーや館

平成21年度 速記研究部 OB会一泊旅行

速記研究部OB会

創部45年 邦楽部OB会が発足

邦楽部OB会

わが邦楽部は創部45年を迎え、10月3日(土)同窓会ホールにて盛大に邦楽部OB会発足式及び懇親会を行いました。

(1部)邦楽部OB会発足式ではOB会規約の説明及びOB会役員の出頭等々があり、名誉会長に住田和士(初代)、会長に尾上眞己(第3代)、副会長に松下滋(第4代)及び越山勝



経大法研OB会40周年記念会

全員で肩を組む、力強く合唱、今回は2年後、九州新幹線全線開通時に九州での再開を約し、開会となった。残念ながら現役の部員は不在であったが、われわれが残したものはOB会に「法研魂」が脈々と流れている事を再確認した夜であった。次の再開迄、諸氏のご健勝を強く希望するものである。また「2年後」。演忍(35回)

内を見学し昼食後2年後のOB総会での再会を約束してそれぞれの帰路に着きました。

幹事 森脇 今村



現役部員と交流会

証券研究部OB・OG会

昨年の11月21日、証券研究部OB・OG会が開かれました。OB・OG7名、在校生32名の参加と少しOBの人数が寂しいながらも私がいた頃の証券研究部より人数が増え、活気に満ちていました。OB・OG会は式次第に基づいて進行され、「歓談」の時間には、先に社会に出られた先輩方や在校生と話したり、軽くご飯を食べたりと親睦を深めました。その後、現幹部の活動報告、新役員の抱負を聞き、現部員の頑張りを聞くことができました。私自身、社会人1年目でOBとしての参加は初めてでした。しかし、やはりOB・OGの参加人数が少ないように感じます。OB・OGの皆さん、もっとOB会への参加を通して、証券部を

盛り上げていきましょう。

井口尚紀(75回)



年一回集まっています

朝鮮文化研究会(朝文研)OB会

アンニョン ハセヨ

母校の発展とOB・OG先輩諸氏のご健勝を心からお喜び申し上げます。「大経大朝鮮文化研究会(朝文研)OB会」は年一回、送年会を親睦と友好をかねて開いています。平成20年度は12月6日(土)大阪・難波の焼肉レストラン「月島」で行いました。具新會會長と妻李坤副會長が平成19年に還暦を迎えられその後多くのメンバーも六十路に入っています。「歳月人を持たず」を実感しています。青春時代の一時期を共有した仲間

が近況を語り合い、昔話に花を咲かせたいに盛り上がっています。

朝文研OBの方で音信不通になっている方がおられましたら、ご連絡をいただきましたら幸いです。ぜひ次回お会いしましょう。

(連絡先) 具新會

0724-2219322(自宅) 具新會(37回)



初の寮友会

第5期寮友会

3月5日寝食を共にし、同じ釜の飯を食った仲間が集う「第一回寮友会」が22名の参加を得、11月7日(8日)に大阪市中央区の割烹日本宗右衛門町店で開催しました。初回ということで現住所の名簿作成に苦労しましたが、大学同窓会、会員のご協力を得て、72名のうち12名の不明者を除き60名を確認することができました。しかし、すでに4名の物故者がいたことにはまことに残念なことでした。卒業か

ら40年という年月は永く、「お前は誰だったかな？」という声があちこちで聞かれました。二日目は、今は取り壊されて影も形もなくなっている寮の跡地と、大きく変貌している大学の発見し、その周辺を散策しました。私の感想として体調不良が理由で欠席した方が意外と多かったのは驚き、改めて健康の大切さを再確認しました。二年後の次回開催まで身体に気をつけて元気に再会できることを願って散会しました。

世話人 広末修(35回)



懐しの上新庄で乾杯

桜井三枝子ゼミ同窓会

2月28日夜、上新庄駅前のTAP A店に10人が参加した桜井教授、藤尾夫妻と長男、吉田、ノエミ、岩井、吉川、和田、尾坂、小幡、鍋コー(ス飲み放題付)を前に、最初の乾杯の



あとは、久しぶりだったので、まずはお互いの近況報告。本学・経営学部卒業の妻と結婚してきた子供の優陽10ヶ月が今回の主役。吉田は学部時代の留学先のメキシコでノエミさんと知り合い社会人になってから結婚し、赤根川は結婚し岩井になった。会の中盤、私の息子が眠りこんだが、仕事を終えた小畑が遅れて合流し、9時ごろに解散した。あの頃は、泣く・寝る・食べるのみの息子でしたが、今は1歳半となり、元気に走りまわり、言葉はまだ話せませんが、これからますます目が離せません。そして、尾坂は警察官となり、吉田はノエミ夫人の故郷のメキシコに国費留学中です。

藤尾大樹(73回)

初の「野風草会」60名が参加

徳永ゼミ同窓会

徳永ゼミでは、2009年3月の卒業生で、ちょうど20期約400人と



なりました。これを機会に、ゼミ全体の第1回同窓会を11月3日にB館31教室で開催しました。おかげさまで、1期から20期まで約50名もの卒業生が、愛媛、岡山、茨城の遠方組も含めて集まってくれました。現役の3、4年生と合わせ60名で和やかなひと時を過ごしました。

佐藤武司同窓会長の挨拶を受け、私から最近の大学の様子の紹介、私が出演している黒正蔵の生涯のビデオを見た後、B館2階のカフェテリアで懇親会を行いました。同期生同士、卒業期を越えて思い出話に花が咲き、経大への母校愛、徳永ゼミの一体感を味わえた集まりとなりました。一期生はなんと46歳、20年ぶりに訪れた母校の建物の様変わりにはびっくりしていました。

今後は毎年11月3日にゼミ同窓会を開く予定です。是非、今からスケジュール表に書き込んでおいて下さい。連絡がつかない方もありました。この記事を読まれた方は、徳永までメールでご連絡下さい。tokun@saka-u.ac.jp

ゼミの名前の由来である「野のよう

にたくましく、風のようにさわやかに草のように生き生きと「これからも活躍して下さい。」

徳永光俊

熱気あり!!

29回同期生会

11月3日、同窓会総会後に同期会を恒例の大学そばの居酒屋「ひでよし」で開催しました。昨年より7名多く皆さん元気な久しぶりの会合で和気藹々に熱気ある同期会となりました。

遠く広島の小林氏や新居浜の飯尾氏も参加され、皆さん退職後をそれ



長野オリンピック クロスカントリー会場 陸上競技の合宿に最適です! 300名 受け入れ可能

信州白馬
ペンション 樹里家

団体特別料金 1泊2食 ¥6800

ゼミ・クラブ、OB・OG会などにぜひご利用ください!

冬期限定 5名様につき1名無料! (但し、年末年始・三連休以上は除く)

TEL&FAX 0261-75-2388
長野県北安曇郡白馬村神城22201-65(白馬の森)
http://www.snownavi.com/juriya/

白馬五竜ゲレンデまで 180m

テニスコート 10面

オーナーは 経大OBです

それの「思い」で何事かに頑張っておられ、人としての情念が益々強くなっている交流でありました。

同期生で物故された方は32名ほどになりますが、この頃は大学への郷愁と期待がより大きくなり、永田氏リードの学歌や大西氏の道遥歌はお隣で空手部の会合に出席されていた同窓会佐藤会長も熱気ある歌声に誘われて参加していただくほど盛り上がりました。

30周年記念総会開催

摂津市経大会

経大会は2月14日、北陸片山津の佳水郷にて30周年記念総会を開催。所属会員は、現役とOBを含め総勢17名。

何と調べてみれば30年だ。急遽、会費を徴収し総会と研修旅行をセットして開催することになった。

総会は、司会の稲森(44回)から経過報告・規約の改定の議案を上げ、駆け足で審議、満場一致で案件を処理した。

その後、温泉浴で日頃の心身の疲れをリフレッシュした後、待ちに待った懇親会が始まった。

一夜歌手になりきった先輩、木下(28回)、宮田(32回)石本(31回)と続き、会長の橋本(38回)副会長の中谷(38回)、埜口(38回)、そして坂口(39



回が次々とステージに登り、日頃の成果を披露され、盛大な拍手が送られた。

一杯また一杯。夜の更けるのも忘れ身も心も満腹に。またの再会を約してお開きとなりました。

長嶋努(39回)

事務局長 飯田政信氏(35回)が社会保険庁長官表彰を受ける

社労士大権会

社会保険庁は2009年9月30日に平成21年度社会保険労務士制度功労者・社会保険庁長官表彰の46名を発表し、永年にわたり社会保険事業の推進・発展に顕著な功労のあったことを表しました。



受賞された飯田正信さん=前列中央

大権会 事務局長 飯田政信氏(35期)が長官表彰されました。飯田氏は大阪市で飯田労務事務所を営み、企業の健全な発展と働く人々の福祉の向上に専念してこられました。それとともに大阪府社会保険労務士会中央支部支部長、大阪府社会保険労務士会副会長、大阪府社会保険労務士会連合会理事を歴任され、労働・社会保険・年金問題等について幅広く提言を行い、政策・制度の充実に努めてこられました。

事務局長 今村武司

14回生同窓会神戸で開催 第14期生会

卒業後61年が過ぎ、80歳を超えたクラスメイトが21名、11月11日、元気に集まりました。今年の当番は神戸組神戸港が一望できるポートピアホテル29F中国レストランで楽しいひと時をすごしました。「何時まで同窓会を続けようか」が話題になり、「米寿までやろう」「女性の平均寿命まで」と元気のいい声も出ましたが、「とにかく来年はやろう」と結論がでて、幹事を選んで解散しました。

宇田 樽尾・柴田

未来に視点を据えて考える時代

稲場 紀久雄先生

一昨年の冬からわが国の水制度改革のために活動しています。昨春、水制度改革国民会議を創設し、国民会議の有識者と超党派の国会議員からなる「水循環基本法研究会」を設置しました。目下、基本法の要綱案と政策大綱案を起草していますが、時代が転換しつつあることを痛感させられています。意欲的な改革案を書いているつもりでも、時代がもつと早く進んでいると実感することが多々あるのです。今は未来から現在を考える時代です。

梅原ゼミの皆さん、お元気ですか?

梅原 英治先生

今年度の梅原ゼミは2回生20名、3回生20名、4回生1名、大学院税理士養成コースではマスター1回生2名、2回生7名という状況です。相変わらず忙しい毎日です。この1年ほどの間に同窓会の熊本支部総会に2度、南九州支部総会(鹿児島)に1度出席させていただきました。両支部の皆様、ありがとうございました。梅原ゼミの皆さんとも、どこかで再会できることを楽しみにしています。お互い元気に頑張りましょう!

就職先をあっせんして下さい

大槻 裕子先生

本年は経大最後のゼミ生(男女3名ずつ)たちとドイツ文化研究の下に楽しくゼミ3年目を迎えました。ゼミ生たちも授業中自由な発想で自主的に発表してくれたり、その他種々の話題を持ち出し意見を述べ合っているのはホッとする感があります。各自卒論のテーマも夏休み前には決着を見ましたが、就活に関しては昨年7月現在内定1名ということに苦慮しております。OB・OGの方々、適当な就職先の斡旋お願いできませんかしら?

イギリスのブレナム宮殿を訪ねる

片山 麻美子先生

卒業生の皆さん、お元気でしょうか。昨年イギリスのブレナム宮殿を訪ねました。晩秋の夕陽が湖面に反射して風が木々にそよぐ美しい風景庭園でした。一方で日本庭園の石組みの強さに惹かれます。先日は京都の松尾神社にいらして重森三玲の庭園をみました。山頂には警座という神の降臨する巨石があるとのことでした。齢をとってつづりますが、聞き役にはなれます。ご連絡下さい。職場環境は大変ですが、体と心の健康に気をつけて頑張りてください。

わかりやすい指導を

熊倉 修一先生

昨年度から経済学部で「金融政策」等の科目を講じております。昨年度までの32年間日本銀行に勤務しておりました。金融論や金融政策論といった科目は学生にはいまひとつピンとこないものがあります。私自身がそうでしたが、日銀でのさまざまな勤務経験を活かし、分かりやすい授業やゼミ指導を行いたいと考えています。いずれ、いろいろな機会に卒業生の皆様にお目にかかると思いますが、どうぞよろしくお願いたします。

人間関係をうまく作る能力を育てる

古宮 昇先生

昨年度から「カウンセリング論」と「臨床心理学実習」の授業で、良い人間関係を作る能力を育てることを目的として授業を始めました。教科書として「インターネット書籍:ネコが教える、人に好かれる方法」を引込み思案のあなたにもできる、11の秘訣」および「人を動かす」を使っています。学生はそのどちらかを読んでも、そこに書かれている人間関係を良くする具体的な方法を生活の中で実践し、授業でそれを振り返ります。

半年を経て慣れてきました

坂本 優一郎先生

昨年4月に本学経済学部西洋経済史担当の専任講師として着任しました。専門は、イギリス経済史です。現在の研究対象は証券が流通する社会、すなわち「投資社会」の形成史です。前任校は京都大学人文科学研究所です。付置研究所だったため、学生さんと交流する機会は残念ながらほとんどありませんでした。そういうこともあり、着任以来いろいろ戸惑うことも多かったのですが、半年を経過してやっと慣れてきました。

上智大学に国内留学中

桜井 三枝子先生

桜井ゼミの皆さん、元気に仕事やっていますか?ただ今、国内留学で上智大学で修行しています。四谷の下宿はさすがに経大支部の親があり、東京在住の卒業生が妻をつれて寄ってくれたり、メキシコ交換留学でフライイトが台風で変更し、急ぎよ2泊していった女子学生2人、インタースHIPで東京のJICSに1週間勤務した本学の女子大学院生が夕食を食べに来たりと賑やかです。こうして、経大で繋がっていると安心感と母校愛を強めています。皆でコミュニケーションしよう!

休日には歴史、文化、伝統を訪問

佐藤 秀雄先生

大阪に来て2年が過ぎた。これまで福岡、東京、外国と転居を重ねて、大阪は25回目の引越越えであった。関西には、歴史と文化そして伝統の集積がある。休日を利用して、京都、奈良、神戸などに頻りに足を伸ばしている。この前は、堺に与謝野晶子と千の利休を偲んできた。あの不自由な時代に心の解放された先進的な女性があったことに驚き、わび茶の元になった利休の使った井戸をみて、文化の源流にふれる思いであった。

大樽会の役割に期待

田中 健吾先生

昨年7月初旬、社労士大樽会において「職業性ストレスとコミュニケーション」の演題で講演をさせていただきました。卒業されてからの向学心に感銘を受けるとともに、幅広い年代にわたる同窓生の確かな「つながる力」を実感したところです。このような、教員の研究と実社会での実践家であるOB・OGの経験の交流が活性化することは、これからの大学の在り方にも大変重要な機能を果たすと思います。大樽会の活躍に期待しています。

徳永ゼミ

徳永 光俊先生

みなさん、お元気ですか。ゼミでは、

不動産鑑定士の誕生が夢

松田 佳久先生

ゼミでは通常の不動産法以外の時間で「不動産鑑定士」講座を実施しています。不動産鑑定士は三大国家資格と言われ、合格の難しい独立開業試験資格です。昨年は5月末に短答式試験があり、合格すると8月初旬に論文式試験があります。学部では短答式に合格した学生はおりませんが、大学院生では1人合格し、論文試験を受験しました。大経大第1号の不動産鑑定士を誕生させることができたいと思っております(灘江45号発行時には結果は出ております)。

激変の18年間

松本 良治先生

21年の3月末にて定年となり、引き続き特任としてあと3年間、講義をつづけさせていただくことになりました。経大にお世話になってからあつという間の18年間でしたが、世の中の状況は激変。インターネットとパソコンに代表されるICT(情報通信技術)も当初とは様変わりです。しかし、この変化に惑わされないように、これからも企業や社会の情報システムのあり姿を追いつけていきたいと思っています。

4年前から学園祭で屋台「徳ちゃん亭」を出しています。おでん、餃子、ペペーカステラとやってきて、今年は揚げ物でした。そりいのTシャツを着て、1ヶ月4年生が協力して頑張りました。ゼミでは、旅行やソフトボールなどをして楽しんでいきます。もちろん、卒業論はみなさんの時と同じように厳しいですよ！全員分の製本しCD-ROMも作って、大学生活の思い出として卒業式の時に渡しています。ゼミ全体の同窓会も2009年より始めています。

人生二回り

樋口 克次先生

皆さんお元気ですか。人生二回り、ここで学び始めて27年、定年までもう少しです。ずっと続けてこれた合宿、証券大会出場、卒論アルバム、講義、そしてコンパ、全てはその場に立ち会われた皆さんの努力と理解のお陰です。

就活が順調に、を祈る

樋口 太郎先生

こちらに来て1年半になりました。

順調に育ってよかった「ゼミ」

山口 雅生先生

2008年度に本学に赴任して初めて持ったゼミの学生は、現在3回生となりました。勉強好きから極端な勉強嫌いまでの多彩な顔ぶれのために、全体の調和を取る上で最初は苦労しましたが、ゼミ長と副ゼミ長などの奮闘努力によって、研究報告と討論が自由にできる毎週のゼミ運営、ボーリング大会、ゼミ合宿などの行事企画が実現され、友人関係もそれなりに形成されて居心地の良い場ができつつあるように感じています。

憂愁

六浦 英文先生

ガダルカナル島の兵士への命令は、「陣地を死守せよ」であった。食料は1週間分しか持たされず、補給の見込みは無いという状況下で、兵士はまず飢餓と戦うことを余儀なくされた。ジュネーブ協定も知らされず、「生きて虜囚の辱めを受けず」という戦陣訓を守れという。非人間的扱いの極致。特攻という発想も破れかぶれの無策。人間を消耗品と見なす発想は、「非正規雇用登録型」という形で、今でも生きています。ではないだろうか。

た。まだ卒業生を送り出した経験がなく、いまはゼミで担当している3回生の就職活動が今後順調に進んでくれることを祈るばかりです。また、教職の担当をしていますので、教師になりたいという思いをもつ学生たちの今後にも期待をしています。今後ともよろしくお祈りします。

就職は試験の時代

平等 文博先生

卒業生のみならず、お元気ですか？ 秋学期に、17人の新2年生ゼミがスタートしました。4年生はいよいよ卒論完成ですが、一昨年来の経済状況で就職未内定の人もあり、文字通り試験の時です。昨年の9月に白浜で合宿をした3年生は、卒論テーマもほぼ固まり、これから本格的に研究開始です。なお、合宿は3期生の中本隆介君(JTB西日本)が手配してくれました。11月には恒例のゼミ交流会をしました。

国内留学しています

藤本 義治先生

昨年4月より関西学院大学に国内留学させていただきました。資料をさがしたり、指導教官との議論、講義を受講したりで、けっこう忙しく過ごしています。そうそうパソコンの授業に無理して出ましたが、やはりシンドかったですね。年をとるとなかなかついていけないことが多くなったなど実感しています。その分、

「優しや」のある 経大生が誇り

吉野 忠男先生

大学生の学力低下において厳しい意見が出される中、学力だけを大学生の判断指針にするのはいかげなものか。私のゼミ生は「大人しい」と同義に思われがちな「心根の優しい」学生が多い。そのことが企業人から見れば「戦力としてどうか」と評る声につながる。優しさの無い人間ほど無機質な感じが、あり危惧すべき点が多い。「優しさ」のある大経大生を、私は大好きであり、何よりも誇りにしている。

気がつけば、定年

渡邊 泉先生

大阪経済大学に就職したのが昭和49年。思えば、喜田義雄先生が経営学部長の時に初めて上新庄の地を訪れ、爾来ここが私の生涯の勤め先になりました。会計史という特殊な分野で生きてきた、あつという間の36年。思い返せば、いろんなことがありました。奉職以来顧問を務めてきた税研とゼミの卒業生で構成している「白水会」がこの一月に退職記念の会を開いてくれました。今回不参加の人も次回は是非顔を見せて下さい。

広く見通す力は若い時より上がった。となくさめていますが、これもどうだか。

海外実習(フランス)を開始

細川 大輔先生

9月6日から16日まで、フランスのノルマンディーで海外実習を実施してきました。これは昨年のもルマンディー・ビジネススクールとの協定締結後、はじめての学生プログラムです。フランスの社会、経済事情やEU統合についての英語での講義は、学生にとり刺激的な体験でしたが、積極的に質問するなど経大生の元気を発揮してきました。今後は先方学生の本学受入れなど、相互交流を深めていきたいと考えています。

大阪経済大学B館2階 営業時間 月～金 8:30-16:30 / 土 10:00-14:00 BAKERY CAFE Cannelle

国際都市、大阪の中心地に 佇む驚きのアクセス。 大阪新阪急ホテル (06)6372-5101 http://hotel.newhankyu.co.jp

生きていたマルクス

上島 武先生

そろそろ趣味に生きる年齢かと「源氏」に挑戦、10ヶ月を費やして読了。華麗なる王朝絵巻との評判とは裏腹に、貴族社会の終焉を予感させるがごとく陰鬱さに息を呑む。にわかには起ころりマン・ショック。資本論を開く。相変わらず晦渋な記述に悩む。一方、この年になって初めて窺う人間マルクスの激情も幾つか。無為徒食の金貸し・投機分子へのはたまた寄生地主への公憤。彼は今なお生きていたが、それも彼が生きていたからだ。

ものは思いようかも

藤本 周一先生

昨冬44号に、近況を御報告してから、もう1年が経ったのです。時の刻みの無情なまでの速さに改めて驚きます。その刻みの速度を落とすため、地球の公転速度(時速約10万7千km)を20%くらいでも鈍化できないものかなどと、とりとめのない空想にうつつを抜かしたりしています。しかし、老境にあつて、1日が疾く過ぎゆくように感じられるのは、健康であることの証しかなと思ひ返したりもして、自らを慰めている昨今です。

哲学とつながる力

山本 晴義先生

元氣です。市民の皆さんに支えられて「生活と哲学の結合」をめざして始めた「大阪哲学学校」が今年で24周年を迎えました。高令の小生が今でも、月2回の例会と合宿や研修に出席できるのは、講師・運営委員や会員として大阪経済大学の先生方、小生のゼミ生、卒業生と女房の熱心な協力なしには到底ここまで続かなかつたと、つくづく感謝しています。宝塚の山のテッペンが快適ですが、コンビニが不便です。

楽しくてくすくす

永野 仁先生

中学2年のとき読んだ『きけわだつみのこえ』(東大生協刊)現在、岩波文庫が私の生涯の方向を決めました。東大赤門前にある「わだつみのこえ記念館」の理事長を務め、2回上京します。経大の隣りの朝鮮学校を支える会、6月7日空襲慰霊祭(於、崇禪寺)、憲法九条を子どもたちに語り継ぐ会などの代表もしています。経大留学生への日本語講座。大方中国、台湾人。中国語を学ぶことにもなります。TEL.06-6327-0654

近況報告

松原 和男先生

退職して3年余、昨夏は沖繩の戦跡を1人で訪れるなど、それなりに充実した余生を送っていました。ところが、昨夏、狭心症の発作から緊急入院、もう少し先のことと思っていた「死」を考えさせられました。幸い、冠動脈にステントレスの金網を入れられました。健康を取戻すことができました。世界的な金融危機の予測や回避に役立たなかつた経済学と違って、医学の目覚ましい進歩を実感しています。

本部だより

理事会報告

同窓会名を「大樽会」と改称

在籍生も準会員として資格化時代に即し、会則を改正
平成21年度同窓会理事会開催

特徴ある大学を

平成21年度理事会は、昨年の6月27日(土)に開催され、挨拶に立つた佐藤武司同窓会会長から「学生数の減少から学校閉鎖が散見される中、本学は今年も1万6千人を超える受験生を集め、順調に推移しております。これを維持し、さらなる発展を図るには、就職に強い大学であるなど学校に特徴がなければなりません。昨今の激動する経済情勢を反映して、今年の求人数は対前年比で25%ダウンと聞いておりますが、こうした状況を見るにつけ、OBのバックアップが必要であります。上場企業経営者を中心に組織した同窓会春秋会を再スタートさせ、体育会連絡協議会(体連協)を大阪経済大学大樽会と名称変更し、後で協議していた校友会と名称変更し、同窓会活動をより多様化していくための改革をひとつひとつやれるところから取り組んでおります。昨年会長就任の際申し上げた信頼、協力、団結の理念の下、学校、理事会と一体となって大学発展に寄与していきたいと述べた。

同窓会会費徴収が4年分割

次に第1号議案(平成20年度事業報告・収支計算書)並びに第2号議案(平成21年度事業計画・収支計算書)をそれぞれ全員一致で承認されたが、それに先立ち中村敏啓事務局長から「20年度収支計算書で経常支出で当初予算を1,273万円も大幅に削減できたのは、瀬江の制作費と発送費を大幅に削減できたことなどによるもの」との説明があり、21年度収支計算案についても「本年度から新入生の同窓会費徴収がこれまでの3万3千円(初年度3万7千円)から4年等分割されることになり、会費収入が前年度予算額の5,750万



あいさつする佐藤武司会長

円から2,400万円と3,350万円の減収となる。このため支部支援費で200万円の増額を見込んでおりますが、次期繰越収支は前年比1,846万円の375万9千円となります」との説明があり、「平成25年度から通常の状況に戻りますが、平成23年度から収支に不足が生じ、24年度は1,400万円ほどのマイナスが生じる見込みです」との報告があった。

同窓会事業を明確化

引き続き3号議案の同窓会会則の改定について田村正晴副会長から「もはや同窓会は追認の場ではなく、諸大学に後れを取ることなく、事業を明確化する必要がある」と考え、第1条の大阪経済大学同窓会を大樽会と称すると改めるほか、第3条の事業目的を明確にし、第5条で在校生を準会員としたのも、同窓会の困い込を図ろうという考えからだ」と会則改定の趣旨説明があった。これに対して、この改定が法律つまり教育基本法にのっと改定されているのか疑問(陰下嘉典16回卒業理事)37条の内規を明確にし、「大樽会」の名称変更、同窓会推薦評議員が欠員が生じている。速やかに補充すべきだ(小谷尼崎支部長)などの意見が出されたが「内規を含めて出された問題点を常務理事会で検討していきます」との答弁で承認された。会則改定の骨子は12ページ掲載)

『濶江』購読料のお願い

「自らの購読料で『濶江』を育てよう！」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました。『濶江』購読料は、お陰さまで深いご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。編集者一同は、このご声援に応え、親しまれる『濶江』を目指し、頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いたします。(送金は、同封の振込用紙をご利用ください。振込手数料は不要です。)

支部長会報告

「支部総会に出席者をどう増やすか」

44支部長が現状を紹介

△全国支部長会Vを開く

平成21年度全国支部長会議が、理事会に先立ち午前中に開かれた。今年はいずれの問題と経費面で同日の開催となった。出席支部は44地域支部と6団体これに同窓会本部の役員を加え会場は満杯の状態であった。

支部運営に役立つ情報

会議は小林真人常務理事(山口支部長)、支部長会幹事長が年に1度一堂に会し、各支部の自己紹介と忌憚のない意見をお聞かせいただくこと、これからの支部運営に少しでも役立てれば、というのが今日の趣旨です」と説明があった。佐藤武司同窓会会長は「本会は会員相互の融和、親睦と社会的地位の向上を図り母校の発展に寄与することを目的とする」としてあります。そのため私はいつも申し上げておりますよう信頼、協力、団結が同窓会の基本理念です。この気持ちをお忘れず、母校を支えていきましょう。今年はいずれの改定を提案します。また同窓会費の徴収変更や就職の協力、大樽会(旧体連協)の再スタート、陸上競技部駅伝や準硬式野球の全国大会出場など明るい話がある半面、大学の倒産という事態も起っております。これには理事会、大学、同窓会が一枚岩になりその中で同窓会は何ができるのかを真剣に考えるのが大切です」と挨拶した。

議事に入り小林議長が「この春実施した支部長アンケートは、単に言い放し、聞き放しなしになることなく、平素から大学や同窓会広報が伝えるホームページや媒体物をご覧いただきたい。この支部もどうすれば支部活動に参加者を動員できるかに腐心されており、他支部の状況や隣接支部との交流、親睦を深めるすべを考えておられる。中にはハン



支部報告をする福井支部長の石橋さん

同窓会ホームページもご覧ください!

同窓会活動をより身近なものとして活用していただくために、HPを作成しております。年間行事予定などがあり、住所変更の申請も手軽にできるようになっています。休止していましたが掲示板が復活しましたのでご利用ください。ご利用いただきご意見、ご感想をお待ちしております。



HPアドレス <http://www.osaka-ue-denko.com>

本部だより

本部役員一覧

2009年12月1日現在

氏名	役職	卒回	氏名	役職	卒回	氏名	役職	卒回
佐藤 武司	会長	30	廣野 義直	支援部長	34	植村 祐三	監事	32
田村 正晴	副会長	30	下垣 恒彦	支援部	36	大西 健介	監事	35
中村 敏啓	事務局長・財務部長	31	梶村 貞男	支援部	37	山内 淳子	監事	47
竹中 亨	事務局次長	32	菊川 和義	支援部	59			
齋 貞文	総務部長	30	神田 博	組織部長	30			
宇藤 博文	総務部	28	石橋 隆夫	組織部	32			
平田 義行	広報部長	31	福地 利仁	組織部	39			
小林 真人	広報部	32	市原 幸恵	財務部	42			
秋山 治信	広報部	37	二宮 勉	財務部	65			
大谷 忠久	広報部	51						

平成20年度収支決算書 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日

(単位:円)

収入の部				支出の部			
科	目	決算額	予算額	科	目	決算額	予算額
前期繰越金		22,224,906	22,224,906	総会費		4,893,043	5,000,000
会費収入		57,780,000	57,500,000	役員会費		1,270,890	1,500,000
總會収入		867,000	750,000	支部費		8,822,208	9,000,000
利息収入		1,051,435	750,000	事務費		632,167	1,000,000
澱江収入		1,148,540	1,000,000	人件費		4,508,220	5,500,000
雑収入		173,528	0	旅費交通費		3,726,780	3,600,000
				広報活動費		15,668,321	19,000,000
				名簿調査費		524,990	800,000
				学対費		7,971,825	9,000,000
				諸会助成費		1,052,111	1,100,000
				慶弔費		215,715	500,000
				予備費		0	4,000,000
合計		83,245,409	82,224,906	次期繰越金		33,959,139	22,224,906
				合計		83,245,409	82,224,906

平成21年度収支予算書 自平成21年4月1日 至平成22年3月31日

(単位:円)

収入の部				支出の部			
科	目	予算額	摘要	科	目	予算額	摘要
前期繰越金		33,959,139		総会費		3,000,000	
会費収入		24,000,000		役員会費		1,300,000	理事会・常務理事会・各部会
總會収入		750,000		支部費		11,000,000	運営費・支部総会援助
利息収入		750,000		事務費		1,300,000	
澱江収入		1,000,000		人件費		5,000,000	事務局人件費
				旅費交通費		3,600,000	
				広報活動費		11,500,000	
				名簿調査費		800,000	
				学対費		15,000,000	大学祭・クラブ活動援助 他
				諸会助成費		1,700,000	諸会援助
				慶弔費		500,000	
				予備費		2,000,000	
合計		60,459,139		次期繰越金		3,759,139	
				合計		60,459,139	

同窓会「大樟会」支部長一覧

(2009年12月1日現在)

支部名	氏名	卒回	現住所	電話
北海道	池田 正勝	34		
	藤本 二郎	34		
	重松 尚繁	23		
	石橋 隆夫	21		
	長崎 和夫	32		
	大塩 博喜	29		
	知五 保彦	40		
	英成 樹	32		
	正村 公一	38		
	田中 伸治	27		
大阪府	三好 政彦	45		
	南 正治	26		
	大門 壽郎	43		
	大 有山	29		
	青木 昭生	12		
	中野 修三	34		
	堀本 修	27		
	小谷 芳男	24		
	水納 敏也	25		
	進木 伸次郎	33		
兵庫県	下土 康晴	25		
	高本 勲	35		
	廣野 義直	34		
	佐藤 武司	30		
	伊藤 俊博	32		
	永井 和信	19		
	林内 通弘	32		
	竹西 集一	34		
	宇藤 博文	23		
	山口 俊政	28		
播磨	秋口 宏隆	39		
	浅原 隆	22		
	小野 巧	35		
	竹本 章	37		
	小池 勝	32		
	陰山 秀明	44		
	小林 真人	32		
	榎本 孝	35		
	岡野 敦	31		
	小野 茂樹	26		
九州	小野 邦男	32		
	植田 達三	52		
	寒田 陽	40		
	濱 忍	35		
	宮崎 俊彦	32		
	南 博隆	34		
	前中 夏木	26		
	大樟 体 育 会	26		
	池田 銀行 経 友 会	36		
	日立 大 樟 会	37		
大樟会	角 脇 忠 行	34		
	税理士 大 樟 会	35		
	大 樟 教 育 研 究 会	32		
	社 労 士 大 樟 会	31		
	久 保 太 郎	31		

平成21年11月3日

250名が出席

大阪経済大学同窓会「大樟会」総会



① 総会出席者に歓迎マーチを演奏する吹奏楽総部の皆さん

はじめに学歌斉唱をリードするグリークラブの皆さん



△挨拶に立つ佐藤同窓会会長



△ご臨席いただいた写真右=勝田理事長 中=重森学長 左=中尾副学長



△心を一につに威勢よく鏡開き



△感謝状を贈り、労をねぎらいました



△参加者で会場はいっぱいになりました



④記念講演をされる経営学部江島由裕教授



⑤懇親会に入り、乾杯のご発声していただいた山本晴義名誉教授



△「あの頃はあの辺り何もなかった」同期生の皆さん

⑥和やかな立食パーティ



同窓会の個人情報保護に関する基本方針

1) 収集および利用

本会では下記利用目的に必要な個人情報（氏名、卒年、学部、学科、ゼミ、クラブ、自宅住所、同電話番号、勤務先など）を、引き続き最大限の注意を払いながら収集し、利用させていただきます。

2) 利用目的

本会は円滑な運営を図るための事業として以下の目的に収集した個人情報を利用しています。

- 機関誌「澁江」ならびに情報誌「KEIDAI DAYS」「大樟会だより」の送付
- 本部ならびに地域支部及び、ゼミ、同期生会、クラブOB会などが主催する行事の案内
- 会費徴収にかかわる案内
- その他上記に関連する業務等

尚、2005年3月31日をもって同窓会名簿の販売および閲覧サービスは中止しております。

3) 安全管理措置

本会で保有する個人情報については、漏洩、改ざん、消失を防止するため安全管理に努め、必要な措置を講じます。とりわけ個人情報の処理を外部委託する場合は、信頼できる会社と機密保持契約を結んだうえで委託致します。

4) 共同利用

上記事業に際してその目的達成のために学校法人大阪経済大学との間で双方の保管する個人情報の一部について共同利用します。

5) 第三者提供

同窓会員からの照会については、所定の手続きの上、原則として被照会者の同意を確認したものに限り回答します。なお、個人情報の提供を望まない場合は、所定の手続きにて事務局に届けてください。

6) 届出、お問い合わせ先

同窓会事務局 〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8
 TEL 06-6328-2431 FAX 06-6328-4564
 メールアドレス denko@osaka-ue.ac.jp

一般印刷・カラー印刷
理想的な印刷を実現

フォーム印刷
専用印刷工場が対応

防災ソリューション
“守る・備える”を具体的に提案

オフィスセキュリティ
オフィスは重要な経営資産のひとつ

オフィス家具
オフィスづくりのご提案

キヤノンサービスネット
安心のサポート体制

ITソリューション
ITの問題解決もおまかせ

OA機器
トータルプロデュース

事務用品
ネット全盛の今こそフォローを!

ノベルティ・ギフト
記念品・販促品をトータルサポート

別製品
オリジナル商品の製作

NIKKO

株式会社 日興商会

本社 ● 〒660-0892 尼崎市東難波町5-10-30 Tel. 06・6487・1401 Fax. 06・6487・1414
 支店 ● 大阪・京都・神戸・東京・名古屋・広島 他 ホームページ <http://nikko.bunguclub.co.jp>

地図に残る仕事。



人がいきいきとする環境を創造する

暮らしをもっと便利に、安全に。

この思いこそが、技術力を磨き続けてきた私たちの原点です。

地球環境に配慮した社会基盤づくりから、

次世代へと引き継ぐべき、さまざまな施設まで。

大成建設が目指す、人がいきいきとする環境へ。

私たちのチャレンジはつづきます。

 **大成建設**
TAISEI www.taisei.co.jp/

BOOKS

新刊紹介



おくれたきたセミ アブラハムの冒険 奥田征彦氏 (34回)



尼崎市で不動産業を営む傍ら、児童福祉施設などを訪問するボランティア活動が続けてきた。

この童話「おくれたきたセミ、アブラハムの冒険」を書くきっかけは、ある男児が虐待された末、運河に遺棄された事件に遭遇した。「その男児が入所していた施設の子らといっしょに、但馬旅行を共にしたばかりだったので、事件後のショックはあまりにも大きく、これを書くことで少しでも子供たちの励ましになればと筆をとりました」という。

物語の主人公アブラゼミ（ここではアブラハムと命名）が、夏の終わりにかなり遅れて地上に出てきたため、同種のセミはすでに姿を消し、仲間を求めて歩くうちにカブトムシやカエルなどと出会い、成長していくという童話。

子供向けにやさしい表現を用いながら、生命や友情の尊さ、生きる目的、志の継承など、深いテーマ性をはらんだ物語で、短い命を精一杯生き抜くセミの姿に子供たちへのメッセージを託している。

学生時代から読書好きで、当時の藤田学長から「卒業しても読書だけは忘れずに」と言われ、今も書物から離れられない。家業を奥さんに任せて、今は郷里三重県の国司北島具教を執筆中。（文芸社刊・1260円）

詩集・授業「共感」 村上明生氏 (44回)



兵庫県西脇市立黒田庄中学校で教頭を務める村上明生氏が、子供たちと共に過ごした31年間にわたる教員生活の中で得た感動をそのまま詩集にまとめられた。

第1章「どろんこ」では、兵庫県八千代西小学校で初めて教壇に立った新米教師の姿を、第2章「たたかい」では、思春期の中学生の苦悩を、第3章「ゆれる」では、オーストラリアのメルボルン日本人学校で出会った子供たちとの触れ合いを、第4章「共感」では、理想とする教育実践の中で得た日々の感動を、それぞれ日記を書くように詩にまとめてある。

「長い教員生活の中には、子供たちとの忘れられないシーンがいくつもありますが、その中で感じたことは、教師は子供たちとの共感の中で成長していくものだということです」と結ばれた。

（友月書房）



中国からの女子留学生 ドクターを取得し本学で 教壇に

谷 力氏
(2009年3月大学院博士号取得)

略歴

1967年8月生まれ、42歳。中国天津市出身。天津市職工体育運動技術学校、天津広播電視大学を卒業後、1999年8月単身で来日、関西日本語学校で1年間日本語を学ぶ。日本語の難しさから一時帰国するが、2001年4月、再び来日して大経大大学院経済学研究科の研究生として入学。渡邊泉教授の下で会計学及び財務会計を勉強して2005年3月博士前期課程を終える。その後本学大学院の研究生として1年間博士後期課程を、さらに3年間社会保障の基礎理論を学び、博士学位論文「社会保障の基礎理論と中国社会保障の分析」で、2009年3月本学としてははじめての女性ドクターの誕生となる。現在は本学の大学、大学院で、経済学研究科非常勤講師として中国語を教えている。

「父が建築設計の仕事をしていてから、子供の頃は室内装飾、インテリアなどに興味を持つ女の子だったのですが、ひよんなことから射撃(ピストル)の選手になっていました」と笑う。

17歳で全国でもトップクラスの選手として着目され、27歳で現役を退くまでトッププロとし活躍。その時の報酬はマンション1戸を購入できたほどという。いまでも右手の人差し指の引き金の当たる部分は硬く、ペンだこのように盛り上がっている。

そんな射撃のプロが何故経済学にと思いついてみた。「1992年日本で行われた射撃大会に出場しました。広島だったと思いますが、その美しさとか、日本人の親切さとか、礼儀正しいことなどが、私に強く印象として残っておりまして。現役に引退し、スポーツ関係の協会の事務職につきましたが、そこで偶然にも日本に留学する機会があつて、何も考えずに単身日本にやってきました」という。

来日してからの学生生活は大変だったようで、「毎日夜遅くまで、土日も勉強ばかりでした。学部の時日本語が十分でなかったので授業についていけません。大学院に入つて少し日本語はできるようになりましたが、専門的なことを勉強するには十分でなく、それに大学院で

は勉強する内容が多く、学校でも家でも勉強する毎日でした」と学生時代を回顧する。

さて、博士課程を終えてようやく独り立ちする時がきた。本学で学んだ知識をどう生かしていくのか。「私の専門は社会保障論です。経済学部の授業で社会保障に触れる機会があり、その基礎理論を勉強するにつれて、これからの中国で、どのように日本など先進国の社会保障システムや基礎理論が参考になるか、ということに興味を持つようになりました。それだけに大学院で勉強した内容ももう少し深め、これからの中国の社会保障に役立てられるような勉強をしていきたいです。また、いま大学と大学院で中国語を教えています。中国語を通じて経済の知識を学生に教えたいですね」と。

そして「日本の中心が社会保障論だったので、日本の社会保障の良い点を中国の参考になるように研究を続けていければうれしいです」と研究心は今も旺盛。

とはいえ、1980年代を境に計画経済から市場経済に移行した中国は、いま急成長した都市部の人民と、人口の大多数を占める農村部の人民との格差問題、さらに医療保険制度の確立など、欧米先進国との大きな格差が横たわっている。彼女の学んだ社会保障の知識が、母国中



(聞き手 森川義)

国の発展に寄与する日は遠いかも知れないが、彼女のこれまでの努力に拍手を送り、その日の到来の早からんことを期待したい。

造船建造量日本一

今治造船(株) 執行役員社長室長
二宮 克郎氏 (40回卒)

略歴

昭和26年(1951年)10月30日生まれ。愛媛県西予市(旧東宇和郡宇和町)出身。58歳。昭和45年(1970年)野球の名門、松山商業高校から第2経営学部入学。昼間は日本橋の会社に勤務しながら通学。昭和49年(1974年)親戚の薦めで故郷の今治造船へ経理担当として就職。その後、同社が買収した広島県三原市の「幸陽ドック」へ再建のため出向。現在、今治本社勤務。平成15年から執行役員社長室長。



広島県尾道市から「しまなみ街道」を今治市へ渡ると、右手の車窓に巨大なクレーンが林立する造船所の風景が目飛び込んでくる。今治造船は、業績を伸ばし、次々と他の造船所を買収、現在では30万トンタンカーから内航船まで幅広く建造する建造量日本一、世界でも3番目に入る規模に成長した。

執行役員社長室長の二宮克郎氏の仕事は、会長、社長のスケジュール調整の他に、対外的な窓口として国土交通省へ提出する建造許可申請書の作成から、海外からの発注元に対しての契約書の作成(勿論英文)など内容は多岐にわたる。

造船業は、世界を相手にビジネスを展開する訳だが、自動車業界と違って受注から引き渡しまで2〜4年を要し、契約後、鉄鋼などの資材の値上がりや為替差損の読み違いで利益を大きく減らすこともあり、これを価格に転嫁出来ないだけに造船業はまさに水ものだ」と言う。

「現在は、3〜4年先まで受注で埋まっている、はた目には好況を誇っているように見えるが、これはリーマンショック以前に受注したもので、それ以後は全く見通しが立たない」と言う。

最後に後輩たちへのアドバイス。「これからは国際人にならないと日本の中だけでは生きていけない時代になってきている。良い人間関係を保つためにはコミュニケーション力、会話力を身につけると共に、地球規模で何事も考える人になって欲しい」と言う。なお、同社には常務取締役西条工場長の日高義信氏(38回卒)も活躍されている。

(聞き手 小林真人)

Zoom Up Keidaijin

「三現主義」で明るく生きる

春日井石崎建材社 専務取締役
高橋 章二氏 (36回卒)

略歴

丹波市生まれ、61歳。吉田工業滋賀YKK産業入社。中部YKK住宅建材部長。販社静岡群馬APエクステリア社長を経て、2008年から現職。



「モットーは三現主義です。現場、現実、現象をしっかりとつかむこと。これに尽きます。どんな場面でも現実を社員に公開し、三割ほどの者が理解してくれたら、目的に向かつて突き進んでいく。そうすれば残りも自然についてきてくれます。それが会社組織というものなんです」

高校時代、英語が苦手だった。なんとかして話せるようになりたいと思ってESSクラブに入り、しゃべる、聞くをどうにかマスターした。

YKKに入社、アルミサッシなどの建材部門に配属され、三年後には早くも滋賀県大津出張所の所長に抜擢された。93年にYKK KAP静岡(株)の社長になったが、なんとここが赤字経営。

「明るく元気にしていればチャンスは必ず舞い込んでくる」との信念でやり直し、数年で再建。腕が買われて次々に赤字会社を任されたが、いずれも建て直した。

学生時代からの友人も多くジャバネット高田の高田明社長ら七、八人で毎年の親ほく旅行は欠かさない。

「同窓生に会ってあれこれ話をすると、若さを保つ秘けつです」と、豪快な話しぶり。

「キャンパスは立派になりましたが、昔のクラブハウスが今でも懐かしいです。本学での同窓会にも何度か出席し、学園の雰囲気浸ることがある。そんな時「ふる里に帰つたような優しいにおいがしてきます。母校というのには有り難いものですな」と息いれた。

(聞き手 山本長彦)



窯元で育ち土に親しむ

「珀耀窯」主宰
清水 一二氏 (50回卒)

略歴

兵庫県丹波市立杭生まれ、48歳。瀬戸・赤津の霞仙陶苑や備前の宝山窯にて修行。2004年珀耀窯開く。第37回伝統工芸陶芸部会展・日本工芸会賞受賞、第20回日本陶芸展特別賞受賞、日本工芸会正会員

清水さんが主宰する「珀耀窯」は兵庫県篠山市にある「丹波焼」の里のほぼ中央部。一帯で窯を開いているのは約60軒。昔ながらの「のほり窯」もあるにはあるが、主流は電気やガスを燃料としている。近くには地元窯の作品を展示即売し、窯元横丁と名付けた「陶(すえ)の郷」や兵庫陶芸美術館などもある。

清水さんの案内で美術館などを見学させてもらったが、どこに行っても知り合ひばかり。里を囲む山並みの優しさが心を和ませてくれた。

今、丹波の里を始め、内外陶芸家の話題になっているのは日本の狭き門と言われる第20回日本陶芸展で応募作九百八十八点の中から清水さんの作品「吹泥金紅線文彩八角器」(写真右)が特別賞に選ばれたことだ。

開口部40センチ、高さ35センチ。上部は鉄釉を薄くかけ、下部は白泥。これに金泥の縦線をあしらっている。

「日本陶芸展の入賞はこの道に入ってから夢であり、目標でもありました。見ていただく人に「美しいですね」「優しい作品ですね」と言っていた大きすぎて頑張ってきただけ。地道にやっていたことが受賞につながったのでしょか」と遠くをみつめた。

「この仕事をしていて一番、感動するのは窯の蓋を開ける時です。どんなものも(火)の中をくぐって初めて作品になります。火を恐れては何もできません。窯元の家に育ち、自然に土と触れあえるようになったことに感謝しています」と含蓄深い。

優しさとおゆかしさを持ち合わせた人
(聞き手 山本長彦)



全日本ベテランテニス大会で見事6度目の優勝(ダブルス)を!

アイ・テニスクラブ 取締役支配人
竹下 友基氏 (37回卒)

略歴

昭和23年2月24日生まれ、61歳。兵庫県尼崎市出身。昭和46年3月本学卒業後、「ソバ×自転車」で知られる新家工業(株)に入社。大学時代のテニス経験を買われて、同社が三和銀行グループの(株)「みどり会」から運営委託を受けていた「江坂グリーンテニスクラブ」の、さらに大林組の子会社、大林道路が経営する「和泉府中テニスクラブ」の運営を、そして現在堺市郊外にある「アイ・テニスクラブ」の取締役、支配人としてその業務に携わる。平成21年10月名古屋市で行われた全日本ベテランテニス大会でダブルス優勝、シングルベスト4に入賞(同部門でも過去に1度優勝している)するなど、シニアテニスの現役プレイヤーとしても第一線で活躍中。

「テニスに本格的に取り組み出したのは、本学の軟式庭球部に入ってからです。当時はコートが二面しかなく、それも硬式庭球部と併用ですから、充分とはいえませんでした。それでもよく練習しましたね」と。四年生の時、キャプテンとして北海道で行われた全日本大学対抗戦に出場「見事三位に入賞した時の感激は今も忘れることはできません。それに故杉浦教授のゼミでお世話になった事も、今となつては良き思い出となつています」と、学生時代を回顧する。

テニスのラケットメーカーで知られた「フラバヤ」「カワサキ」などから就職の誘いを受けながら、取ってテニスとは無縁の自転車とその部品メーカー(当時自転車部品のリムの生産ではシェア80%近くを占めるトップメーカー)に就職、テニスとは関係のないサラリーマン生活を送っていた。

ところが、同社が経営多角化の二環として自転車製造技術を生かしたテニスのラケットの生産に、加えてテニスウェアなど関連商品をも手掛けるようになり、学生時代のテニス経験を買われてその仕事に従事するようになる。

「新規事業として、はじめは売り上げも順調に推移しましたが、それも長続きせず、東京転勤を断り、江坂のテニスクラブの運営に携わるようになった。考えてみれば、それが私の人生の分岐点になりましたね」と、笑う。

(聞き手 森川義二)

Zoom Up Keidaijin

Zoom Up Keidaijin

大河ドラマ「龍馬伝」に期待!

高知新阪急ホテル 取締役総支配人
田岡 弘志氏 (49回卒)

略歴

昭和35年11月大阪市生まれ。昭和58年経営学部49回卒。在学中はギター部で活躍。昭和58年、卒業と同時に新阪急ホテルへ入社。サービススタッフ、秘書室、販売促進部門などを担当。平成9年から12年まで高知勤務。平成20年からは取締役総支配人として2度目の勤務。大阪へ家族を残し単身赴任。



田岡氏が総支配人を務める高知新阪急ホテルは、近くには高知を代表する名所「はりまやばし」や高知城、高知県庁などが徒歩分で行ける位置にあり、交通にも恵まれている。田岡氏は入社後は、フロントは勿論レストランのウェイター、宴会のサービス係から秘書室、販売促進セールス部隊とホテルマンとしてひととおり経験を積んできた。高知は2度目の勤務だが従業員110名のトップとしてその責任は大きい。

このホテルは客室数242室と、高知県内でもトップクラスの規模を誇る。高知市内に着いてまず思ったのはホテルが多いと言ったことだ。田岡氏に言わせれば「ホテルの激戦区の割には需要が少ない」のだと言った。

また、リーマンショック以来この業界も冷え切っているが、今年はNHKの大河ドラマ「龍馬伝」の放送が開始され、高知が注目されるのは間違いなし。「再び龍馬ブームを巻き起こし、全国から多くの観光客が高知を訪れ、ちょうど今年にはホテルの創立25周年にも当たるのでうまくブームに乗り記念すべき年にしたい」と郷土が生んだ偉大な先人に期待する。

(聞き手 小林真人)

日本の風土にあった英国PUB文化の普及に

株式会社ハブ 代表取締役社長
太田 剛氏 (49回卒)

略歴

昭和36年1月4日生まれ、48歳。神戸市出身。同54年、高校駅伝の名門、報徳学園を卒業後、本学経営学部に入社。同時に陸上競技部に入部し全国大会出場の実績となる。同58年3月、卒業後ダイエーの100%出資の子会社(株)ハブに入社。その後ダイエーの外食事業の再編により紆余曲折はあったが、平成21年5月、資本金6億2800万円、従業員316名(派遣社員を含む)、年商50億円、大証へラクスに上場する(株)ハブの社長に就任。



ダイエーの創業者故中内功氏が、かつて英国を訪れた際、英国PUB文化に強い感銘を受け、これをぜひ日本に広めたいと昭和55年3月、子会社(株)ハブを設立、神戸三宮に1号店をオープンした。当時の神戸港にはまだ多くの外国船が入港し、外人客もさることながら珍しさと安価な飲み物が好評を得、大いににぎわった。当時就職活動中の太田氏は「その頃六本木店、札幌駅前店など5〜6店舗の規模だったと思いますが、週刊誌価格で飲めるという、つまり、より良い物を、より安く」というダイエーのDNAが、この会社にも浸透し、店は活気にあふれ、将来目標1千店と聞かされました。これに可能性を感じ、即入社を決めた」という。

しかし英国風PUB文化を日本に定着させるという事はそう簡単ではなかった。平成10年5月、新生(株)ハブとして再スタートしてからは、役員として営業、事業の統括本部長の重責を任されることになる。「数年前、金鹿現会長と本場、イギリスを訪れ、店づくりからサービスの仕方などを勉強してきました。要は軸をぶれることなく、日本の居酒屋にない、日本風のPUB、日本の風土に合った英国PUB文化を新たにつくって、こう」と心に決めた。「昨年、先方からの要請もあり、慶應義塾大学日吉キャンパス内に「HUB慶應日吉店」をオープンしました。もちろん大学施設内への英国風PUB出店は日本で初めてでしたが、教授と学生、さらに近隣の方々とのコミュニケーションの場として喜ばれています」と、新しい日本の食文化形成に大きな期待を寄せている。

(聞き手 森川義二)

社 労 士 大 樟 会

社会保険労務士の役割

企業の健全な発展と働く人々の幸福を目指します!!

「社会保険労務士」は、労働・社会保険に関する法律、人事・労務管理の専門家であり、企業経営の4要素のうち、人的資源に関するエキスパートです。

さらに労働・社会保険に関する諸問題、さらに年金の相談にも応じる「実務家の資格」です。



社労士大樟会 会長 久保 太郎(31期)

社労士大樟会は2008年7月に誕生した大阪経済大学同窓会の職域支部です。学術の研究、講演会の開催等会員の資質向上及び社会的貢献につながる事業と会員相互の親睦をはかる事業を行っています。社労士資格をお持ちの同窓生の皆さん!ぜひご参加ください。「つながる力」を結集しましょう。

お問合せ先

事務局長 飯田 政信 (35期)

TEL:06(6263)5511

FAX:06(6263)5510



大阪経済大学生協生活協同組合 〒533-0011 大阪市東淀川区大桐 3-16-10
TEL.06-6379-2230 Fax.6379-2232 URL.http://OK.osaka.coop/
e-mail Osakakeizaidai.Coop@ma4.seikyuu.ne.jp

TOPPAN

紙製飲料缶「カートカン」

環境にやさしく、内容物本来の味を損なわないという特長が評価され、ジュースやお茶類、コーヒーなど、さまざまなメーカーの飲料容器に採用されています。



お問い合わせは、
関西事業本部
大阪市福島区海老江3-22-61
Tel.06-6454-3011

凸版印刷株式会社
http://www.toppan.co.jp/

地域づくりで 総務大臣表彰

別府外国人観光客案内所
代表

山本 普詳氏
(40回卒)



大分県別府市は日本最大の湯量を誇る国際観光都市。年間22万人の外国人がこの町を訪れる。
別府駅から徒歩5分の繁華街のビルの一角に「別府観光交流プラザ」がある。25年前「せっかく別府市を訪れる外国人をがっかりさせたくない」との思いから英語に堪能な有志23人が町おこしに立ち上がった。
山本代表は、在学中は週3日、授業料を稼ぐためにアルバイト。あと3日の夜は英会話スクールへ通う生活。語学には自信があったことからこのグループの立ち上げに参加。

現在は、英語の他に韓国語、中国語の対応できる25人が交流プラザと別府駅構内の案内所へ交代で詰めている。
相談内容も「温泉の湯の温度が暑い」といった苦情からホテルの予約、旅行ルートの相談など多岐に渡る。
山本代表は「この25年間で印象に残ったことがある。約10年前のことだ。ある冬の寒い日、オーストラリアからきた若い女性がヒッチハイクで長崎まで行きたいという。日本にはそういう習慣がないからと止めたのだが、どうしても約束があるという。そこでガイドの1人が長崎と大きく書いたプラカードをもって一緒に道路に立っていたら運良くトラックが乗せて行ってくれたことに。2週間後、寒い雪の日に一緒に立ってくれてありがとう。あの親切は私の人生最高の思い出になりました」というあの女性からの手紙が届いた。
「このボランティアを続けて良かった」と思った。
昨年、長年のボランティア活動が認められ「地域づくり総務大臣表彰」を受賞した。
(聞き手 小林真人)

略歴

昭和26年6月6日別府市生まれ58歳。昭和49年経営学部卒。大阪市印刷会社に就職。2年後ふるさと印刷社を継ぐ。1993年から社長。1996年外国語の堪能者23名で外国人観光客向けのボランティア案内所を立ち上げる。その後別府外国人観光案内所と名称を変える。現在はボランティアガイド25人の代表。

Zoom Up Keidaijin

淀川河川敷で 「根性」鍛えた

ダイエー 人事・人材開発本部
インストラクター

畠中 章人氏 (50回卒)

略歴

大阪生まれの49歳。ダイエーに入社。大阪や堺、和歌山各市にある店舗に勤務。本社加工食品課に配属。2006年からインストラクター。

卒業と同時にダイエーに就職して26年。いろんな店舗に配属され現場経験を積んだ。さらに菓子や酒、それに嗜好(しこ)品などのバイヤーを歴任し、4年前から今の職場でグロスリ(加工食品)専門のインストラクターをしている。
研修用の資料は電話帳ほどの厚みがある。専門用語がずらりと並び1、2ページ読んだだけで頭痛がしてきた。
指導しているのはパート従業員から課長クラスまで。「教えることの難しさを実感しています」と切り出した。
温和な顔をしているが、仕事の話になると表情が引き締まる。竹林祐吉ゼミで、卒論のテーマは(わが国における商業・流通の諸問題)。
「同期で11人がダイエーに入りましたが、残っているのは4人だけ。寂しいですが、ワンゲル部で鍛えた忍耐力が強みです。淀

川河川敷をよう走りまわりました。早春の川面や若草のにおいが印象に残っています。懐かしいです」
これまで何人か取材させていただいたが、卒論のテーマをすらすらと言ってくれたのは畠中さんが初めて。よほど几帳面な性格なのだろう。
研修の合間をぬってJR大阪駅近くで取材させていただいたが、待ち合わせ時間も五分前にはきっちり到着してくれた。
「研修は各店が勝手きままな営業スタイルではなく、すべての点を標準化するためです。それがお客さまの信頼につながることにあります」
心構えを尋ねると「人間万事塞翁が馬」だと言う。ダイエーマンの心意気を見たような気がした。
(聞き手 山本長彦)





イメージひろがる! テクノカラーは、アイデアしだいで使い方がいろいろ...

新たな時代を彩る、
カラーモルタル誕生!

ColorMortar



【特徴】 ●豊富なカラーパリエーション(全カラー66色)で自在の色の組合せが可能です。 ●プレミアムモルタル製品ですので、硬化物は接着性に優れ、かつ高い強度を発揮し、耐久性に優れています。 ●白華現象のおこりにくい配合設計になっています。 ●用途的に合わせて多種の組合せが可能です。
【種類】 テクノカラー-SK(厚塗り用)・テクノカラー-MU(薄塗り用)・テクノカラー-NS(洗い出し及びコンクリート用)

色・カタチ思いのまま
スタンダードをめざす
業界初の新発想モルタル



業界初

テクノカラー 66

(受注生産型)

機能性モルタル類の総合メーカー
テクノスジャパン株式会社

○お問い合わせは TEL/078-924-1234 FAX/078-924-0050
NET/http://www.attack-pro.com

■本社・工場/〒673-0028 兵庫県明石市磯町3丁目4番7号 ■東京支店/〒130-0012 東京都墨田区太平3丁目11番10号

昭和39年 30回卒業 同窓会会長
代表取締役 社長 佐藤武司

大阪経済大学同窓会の皆様

もう設置されていますか?

火災警報器を自宅に設置している人、45.9%



法律ですべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されました!

住宅用火災警報器



ホーチキの住宅用火災警報器は
ネジヤピンに吊すだけの**かんたん**取り付け!

さらに...

電池交換不要!
10年寿命
電池内蔵

ボタンを押すだけ!
かんたん操作で
すぐスタート

部屋に合わせて
火災を判断!
間違い警報が減少

ホーチキ株式会社

代表取締役会長 藤本 二郎
(第34回卒 本学評議員 東京支部長)

本社 〒141-8660 東京都品川区上大崎2-10-43
TEL 03 (3444) 4111 FAX 03 (3444) 4118

<http://www.hochiki.co.jp>



●消防法令適合品
●住宅性能表示制度対応品



大学から北へ徒歩2分、約300m先に大阪市営地下鉄今里線の「瑞光4丁目(大阪経大前)駅」ができました。開業は2006年12月24日、路線距離は11.9kmで今里線の駅数は全部で11。瑞光4丁目の乗降者数は現在1日約6300人を数え、多くの経大生が通学しています。50周年記念館の7階同窓会ホールから新幹線の手前に、鮮やかなイエローのゲートが見えるのが駅の入り口です。瑞光4丁目駅の次が終点の「井高野駅」で本学の摂津キャンパスの近くです。同窓生の皆さん、大学へは一度地下鉄を利用されお越しく下さい。

お知らせ

- ◆「北から南から」(テーマは本号と同じでお1人1テーマ)、
「OB・OGネットワーク」投稿歓迎
- ◆ズームアップ経大人 自薦他薦歓迎
- ◆広告協賛のお願い
- ◆本号のご感想、企画提案などはご自由に
(上記お問い合わせは事務局広報部へ)
- ◆「澱江」次号(46号)の発行は
2011年(平成23年)1月25日(火)となります。



OSAKA
UNIVERSITY
OF ECONOMICS

でんこう
澱江
2010

- 発行日 2010年1月25日(月)
- 編集 大阪経済大学同窓会「大樽会」広報部
〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 電話 (06)6328-2431
メール denko@osaka-ue.ac.jp URL <http://www.osaka-ue-denko.com/>
- 印刷 凸版印刷株式会社
〒553-8580 大阪市福島区海老江3-22-61 電話 (06)6454-3256